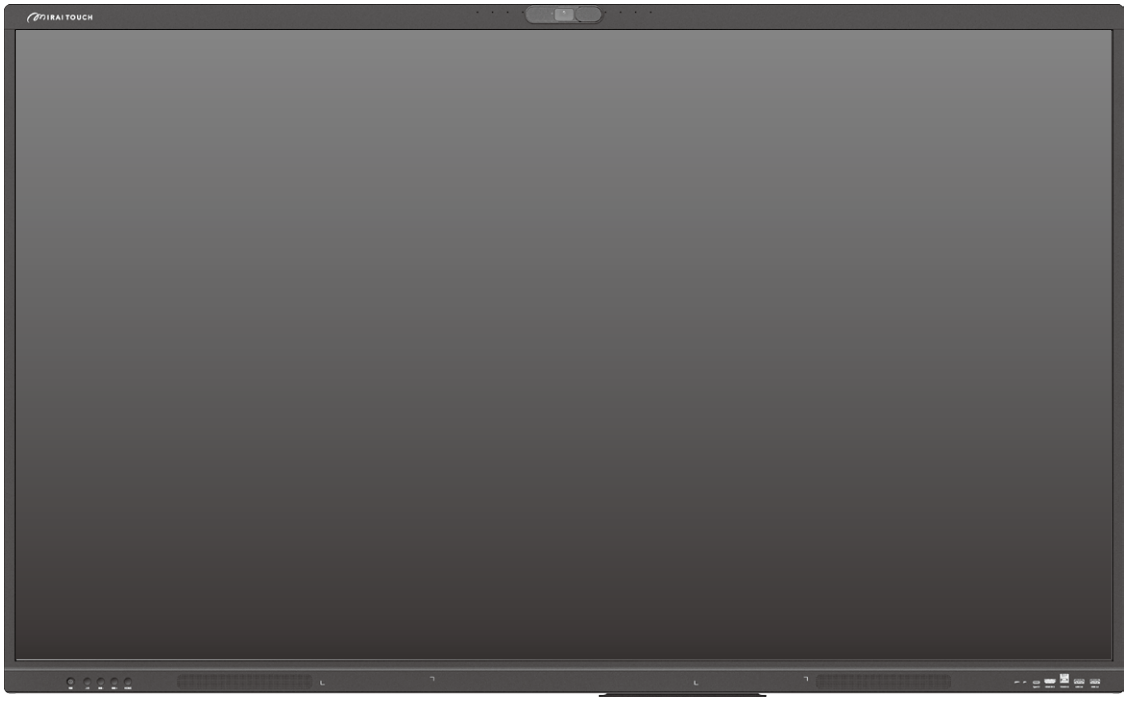
SATSUKI®

Ver.1

インタラクティブディスプレイ
M65CE4S/M75CE4S/M86CE4S

取扱説明書



このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全に正しくご使用いただくために、
お使いになる前に必ずこの「取扱説明書」および本書記載の「安全上のご注意」をよくお読みになり、十分にご理解ください。
また、お読みになった後は保証書とあわせて大切に保管してください。

目次

安全上のご注意 4
ご使用上の注意 6
付属品を確認する 8
各部の名称と働き 9
正面 9
側面 10
背面 11
設置について 13
設置条件 13
スタンドについて 13
リモコンの準備と操作 14
電池を入れる 14
リモコンで操作できる範囲 14
リモコン操作 15
機器を接続する 16
PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力） 16
HDMI接続する場合 16
接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力） 17
HDMI接続する場合 17
DisplayPort接続する場合 18
本機の音声を他の機器で再生する（音声出力） 18
本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合 18
本機の画面をサブモニターなどで表示する（映像出力） 19
本機内蔵Android画面、VGA/HDMI/Type-C/DP入力画面を出力する場合 19
本機をPCから制御する（シリアル制御/サービス用端子） 19
ネットワーク接続する 20
LANケーブルの接続 20
無線機器を取り付ける 20
電源を接続する 21
電源の入／切 21
スタンバイモード 21
タッチ操作 22
基本的な操作方法 23
ホーム画面 23
ホーム画面（Launcher切替） 24
クイック設定メニュー 26
表示方法 26
サイドメニューを表示する 27
ポップアップメニューを表示する 28
アプリのショートカットを表示する 29
アプリー覧画面を開く 30

ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE） 31
描く、消す **33**
選択モード **33**
消しゴムモード **33**
同時書き込みモード **34**
ファイルを参照する（Finder） 35
ウェブページを見る 36
カメラを使う（カメラ） 37
ワイヤレスミラーリングソフト（Bytello Share） 39
画面を切り替える 41
Air Class機能 42
設定する 46
クイック設定 **46**
起動方法 46
一般設定 46
ディスプレイ設定 47
オーディオ設定 48
詳細設定 **49**
ネットワーク 49
一般 51
入出力 53
アプリケーション 54
システム 54
管理者 57
その他 58
About 58
故障かなと思ったら 59
正常に動作しない 59
映像入力した機器の画面がうまく表示されない 59
音が出ない 59
タッチ操作がうまくできない 60
お手入れ方法 61
長期間使用しない場合 61
仕様 62
アフターサービス 64
製品の保証について **64**
修理を依頼されるとき **64**

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の意味

⚠ 警告	人が死亡または重傷に結びつくことが想定される内容です。
⚠ 注意	人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。

してはいけないこと　必ずすること

気をつけること

⚠ 警告

プラグを抜く

使用中に以下のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる

- 煙が出ていたり、においがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 本機を落としたり、本機が破損したとき

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。使用を続けると、火災、やけど、感電の原因になります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

指示

正しい電源電圧で使用する

指定以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。

改造禁止

分解や改造をしたり、カバーを外さない

火災や感電の原因になります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

禁止

内部に異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない

加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、熱器具に近づけたり、家具などの重いものをのせないでください。傷んだものを使用すると、火災や感電の原因になります。

指示

本機を定期的に清掃する

お手入れには乾いた柔らかい布のみ使用してください。

指示

電源プラグや端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除する

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下となり、火災の原因になります。

端子部分は汚れていると接触不良になり、動作不良になる場合があります。

また、掃除する際は、破損しないよう十分にご注意ください。

指示

雷が鳴り出したら、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。

禁止

本機に水、湯気をかけない

本機は防水性を有しておりません。コーヒー湯沸かし器、電気ポット等の近くや調理場で使用しないでください。水滴、湯気が内部に入り、内部部品が腐食し、感電や故障の原因になります。

禁止

風呂場など水のかかる場所や雨に当たる場所には置かない

火災や感電の原因になります。

指示

アースを必ず接続する

アースを接続しないで使用すると、火災や感電の原因になります。

指示

スタンドは当社指定のものを使用する

当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

指示

壁掛けで使用する際は、十分な強度の金具を使用し、壁の補強をする。また、壁掛けの際には工事専門業者に依頼する。

⚠ 注意

指示

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って引き抜く

コードに傷がつき、火災や感電の原因になることがあります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

指示

電源プラグや電源コードに異常があるときは、使用をやめる

以下のような場合には、使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- コンセントに差し込んだときに電源プラグがゆるく、ぐらつく

禁止

熱器具のそばや直射日光のあたる場所には置かない

故障、発熱、タッチ誤操作の原因になります。

禁止

本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因になります。

禁止

本製品を屋外で使用しない

本製品は屋内専用です。屋外で使用すると、故障の原因になります。

禁止

本機に強い衝撃を与えない

倒れたり、液晶ディスプレイが割れてけがの原因になります。

禁止

横倒し、うつ伏せ、逆さまの状態で使用しない

発火や故障の原因になります。

禁止

本機の上に物を置いたり、乗っかったりしない

けがの原因になります。



移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

指示

電池の取り扱いに注意する

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがの原因になります。以下の点を注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）を間違えない
- 電池のプラス（+）とマイナス（−）をショートさせない
- 異なる種類どうしや新しい電池と使いかけの電池を混ぜて使用しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れたり、加熱しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出す

電池が液もれしたときは以下の指示に従ってください。

- 素手で液をさわらない。
- 液が体や衣服についたときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受ける。

禁止

ディスプレイが破損した場合は、液晶を皮膚に近づけない

失明や皮膚に障害を起こす原因になります。
液晶が漏れて目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けて下さい。

禁止

付属の電源コード以外は使用しない

火災や感電の原因になることがあります。

指示

電源プラグは容易にコンセントから抜くことができる状態で使用する

異常が起きたときに、すぐ電源プラグをコンセントから抜けるようにしてください。

指示

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因になります。

禁止

たこ足配線はしない

火災の原因になります。

禁止

通風口をふさがない

内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

指示

通風口は定期的に掃除する

通風口がほこりなどでふさがると、発熱や発火・故障の原因になります。

禁止

画面を強く押したり、叩いたり、先のとがったもので押さない

液晶ディスプレイが破損し、けがの原因になります。

指示

本機を移動するときは、接続しているコードを外す

コードが破損したり、引っかかって倒れてけがの原因になります。

指示

お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災、やけど、感電の原因になります。

指示

アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなう
また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外す

指示

本機は精密機器です

設置の際は振動が発生するインパクトドライバーは利用しないでください。

禁止

同梱された電源コードセットは他の製品に使用しない

ご使用上の注意

周囲環境

- 本機を使用するときは、周囲温度を0℃～ 40℃、湿度を10% ～ 90%の範囲内にしてください。この範囲外の温度や湿度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因になることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 風通しがよく、熱がこもらない場所でご使用ください。

電源を切るとき

- 本機は精密機器ですので、動作中に電源プラグをコンセントから抜いたりすると、故障の原因になります。必ず本体の電源をオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れするとき

- お手入れするときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと傷つくおそれがあります。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

結露について

- 低温の場所から高温の場所に本機を移動したり、暖房を入れて室温が急激に上昇したときは、本機内部に結露が発生することがあります。このような場合は、十分に時間をおき、結露がなくなってから電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源ボタンについて

- 電源オン時に本機の前面にある電源ボタンを短く押すと、スタンバイモードになります。
  ディスプレイの表示はオフになりますが、機器は動作しています。電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源ボタンを長押ししてシャットダウンするか、主電源スイッチをオフ（◯）にしてください。

残像について

- 長時間同じ画面を表示させておくと、残像が生じることがありますが、故障ではありません。
  残像は時間の経過とともになくなりますが、長時間同じ画面を表示させるような使い方はなるべく避けてください。

免責事項

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（本機にお客様が登録された情報やデータの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機にお客様が登録された情報やデータが、本機の故障や修理、その他の取り扱いなどにより万一消失した場合も、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は日本国内のネットワーク専用です。日本国外ではご使用になれません。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ウィルスソフトを入れても、すべてのウィルスには対応できません。
- アンチウィルス機能は有効化（アクティベーション）が必要になります。有効化を行う場合には弊社もしくは販売会社へお問い合わせください。
- アンチウィルス機能は使用許諾契約にもとづき使用が可能です。本電子黒板をご使用の前に使用許諾契約をお読みください。
- 長時間コンセントを抜いた状態にした場合、時計表示がずれる場合がございます。
  時計にずれが生じた場合には日付けと時刻の設定手順に従い再設定をお願いします。
- 弊社開発のアプリケーション以外のサードパーティ製のアプリケーションは開発会社のバージョンアップにより、仕様変更ならびに使用ができなくなる場合がございます。
- 弊社指定品以外の移動式スタンドや金具の使用による転倒・破損などによる故障や損害等は当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

知的財産（著作権・肖像権）について

- お客様が本機を利用してインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

Bluetooth ／無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 本端末は全てのBluetooth対応機器、無線LAN（WLAN）対応機器との接続動作を保証するものではありません。

- 本端末はBluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth、無線LAN（WLAN）機能を使用した通信時のデータや情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所で使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（電子レンジ使用時には特に影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（WLAN）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

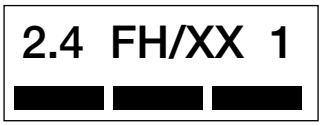
本製品が使用する無線LAN（WLAN）のチャンネル

- 本製品は、2.4GHzの周波数帯において、1 ～ 13chの各チャンネルを利用できます。
- また、5GHzの周波数帯において、W52（36、40、44、48ch）、W53（52、56、60、64ch）およびW56（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）の各チャンネルを利用できます。

(2.4GHz) IEEE802.11b/g/n/ax		
(5GHz) IEEE802.11a/n/ac/ax		
W52	W53	W56
(6GHz) IEEE802.11ax		

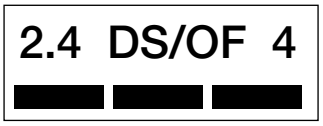
2.4GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末のBluetooth機能および無線LAN（WLAN）機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する）、および特定小電力無線局（免許を要しない）、アマチュア無線局（免許を要しない）などの無線局（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、ご使用を中断して、電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。
- Bluetooth機能が使用する周波数帯



2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/XX　：変調方式がFH-SSおよびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- 無線LAN（WLAN）機能が使用する周波数帯



2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF　：変調方式がDS-SS、OFDM方式であることを示します。
4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

5GHz帯ご使用上の注意事項

- 本端末の無線LAN（WLAN）機能は、5GHz帯を使用します。
- 電波法の定めにより5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）の屋外利用は禁止されております。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
- 本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が製品本体に表示されています。
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効になります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

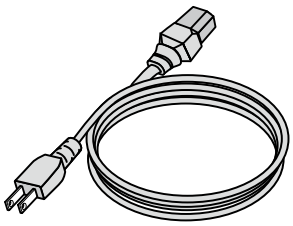
付属品を確認する

本製品には以下のものが付属します。
万一不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

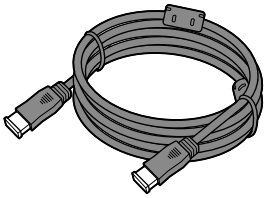
リモコン×1
単4乾電池×2



電源コード×1

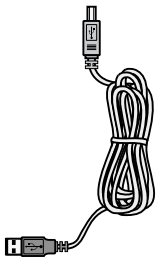


HDMIケーブル×1

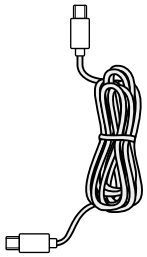


保証書×1

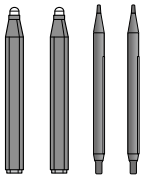
USBケーブル×1
(USB B タイプ－ USB A タイプ)



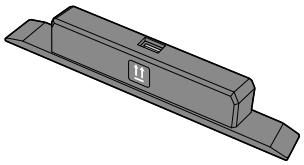
USBケーブル×1
(USB C タイプ－ USB C タイプ)



タッチペン×4
※ 2種類

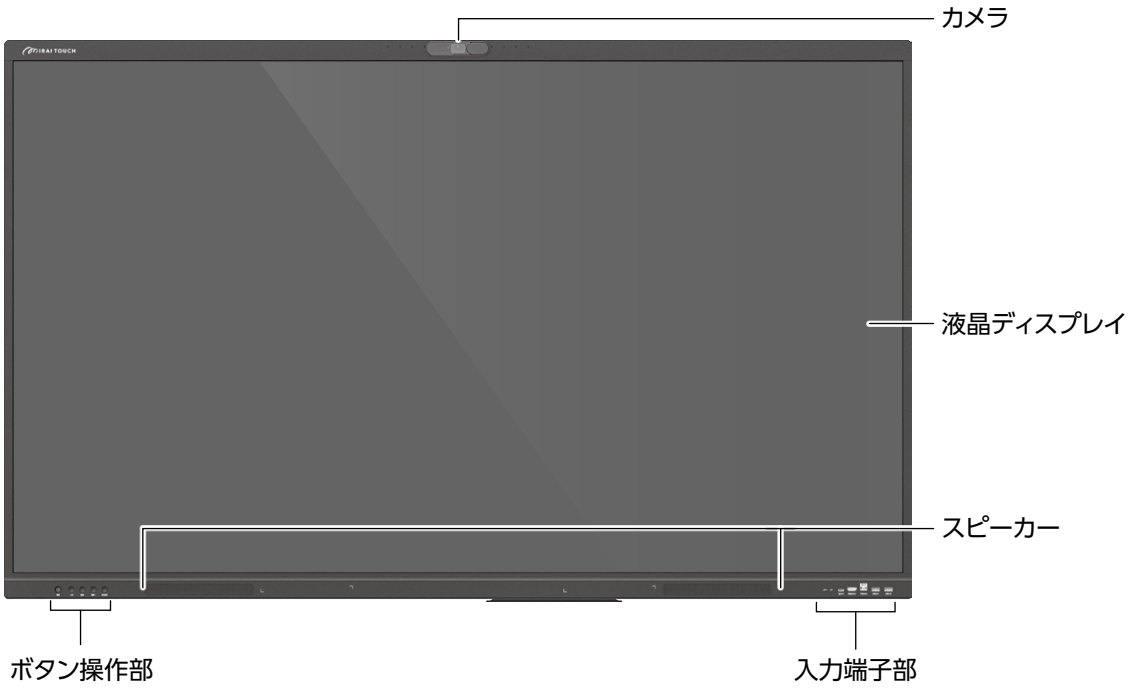


無線ユニット×1



各部の名称と働き

正面



ボタン操作部



電源	短く押す	電源オン時：ディスプレイ表示が消え、スタンバイモードになります。もう一度押すと復帰します。 電源オフ時：電源をオンにします。(主電源がオンになっているとき)
	長く押す	電源オン時：カウントダウンが開始され、0になるとシャットダウンします。
入力		入力ソースを切り替えます。
音量ー／＋		音量を調整します。
HOME	1回押す	ホーム画面を表示します。
	2回押す	指定したアプリケーションを起動できます ※指定アプリケーションはその他 > Double-click to open the appで指定することができます。(P.58)
	長押し	画面をスクリーンキャプチャします。 保存画像は、本機の「ScreenShots/[日付]」フォルダに保存されます。

入力端子部

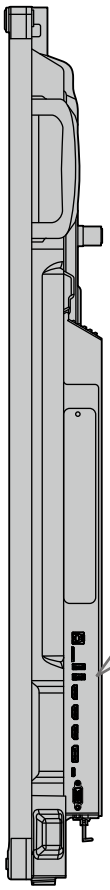
リモコン受光部
リモコンの信号受光部です。



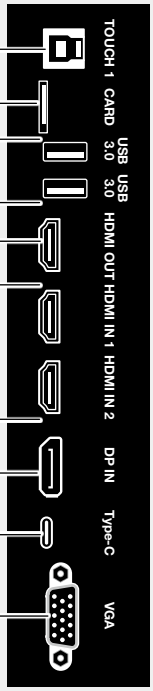
Type-C	Type-C映像の入力もしくは給電をおこないます。(最大PD：65W)
HDMI入力端子3	HDMI対応機器を接続して、本機で画面を表示します。
TOUCH端子2 (USB type B)	付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。
USB 3.0	接続すると、自動的に接続機器を認識して、PCまたはAndroidどちらか最適な方へ接続されます。

各部の名称と働き（続き）

側面



本体端子部



TOUCH端子1（USB type B）：
付属のUSBケーブルでPCなどを接続すると、本機の液晶ディスプレイ上で接続機器をタッチ操作することができます。

CARD端子：
microSDカードを挿入して、microSDカード内のデータを読み書きできます。

USB3.0端子：
ハードディスクやキーボード、マウスなどのUSB機器を接続します。

HDMI出力端子：
本機に表示している映像をサブモニターなどに出力します。

HDMI入力端子1 ～ 2：
HDMIケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。
「クイック設定メニュー」の「一般」で「HDMI1 ～ 2」を選択してください。HDMI接続では、音声も同時に入力します。

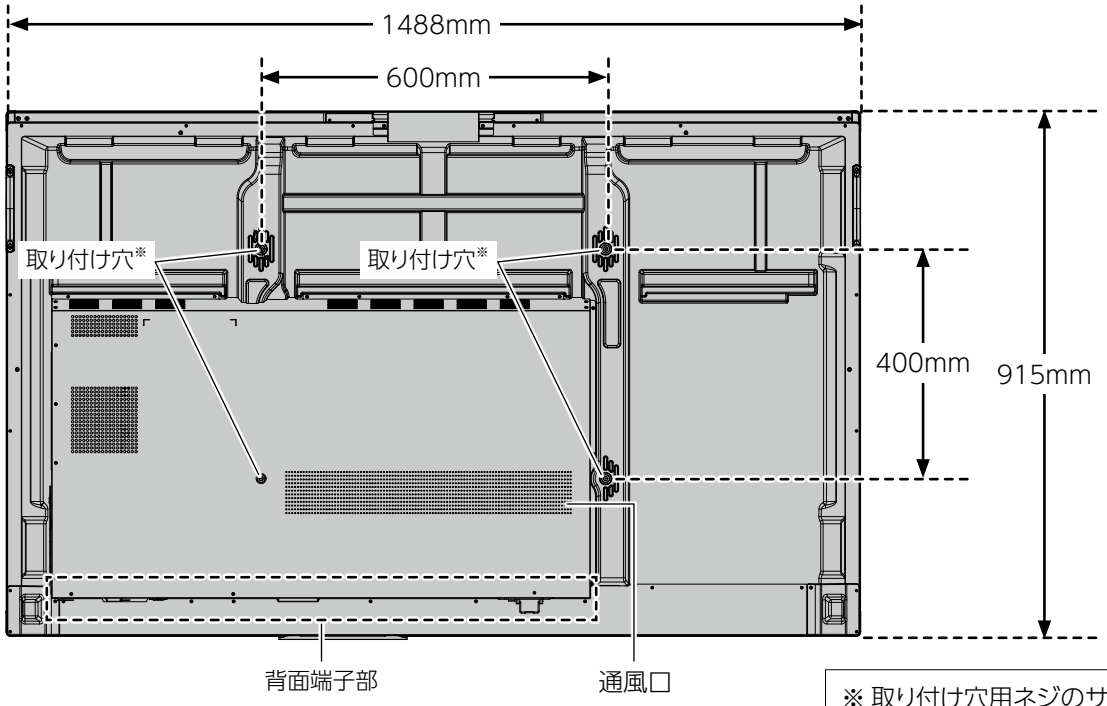
DisplayPort入力端子：
DisplayPortケーブルを使って映像を入力し、本機で表示します。

Type-C:
Type-C映像の入力もしくは給電をおこないます。(最大PD：15W)

VGA端子：
VGAケーブル（別売）を使ってPCなどを接続すると、接続した機器の画面を本機で表示／再生できます。

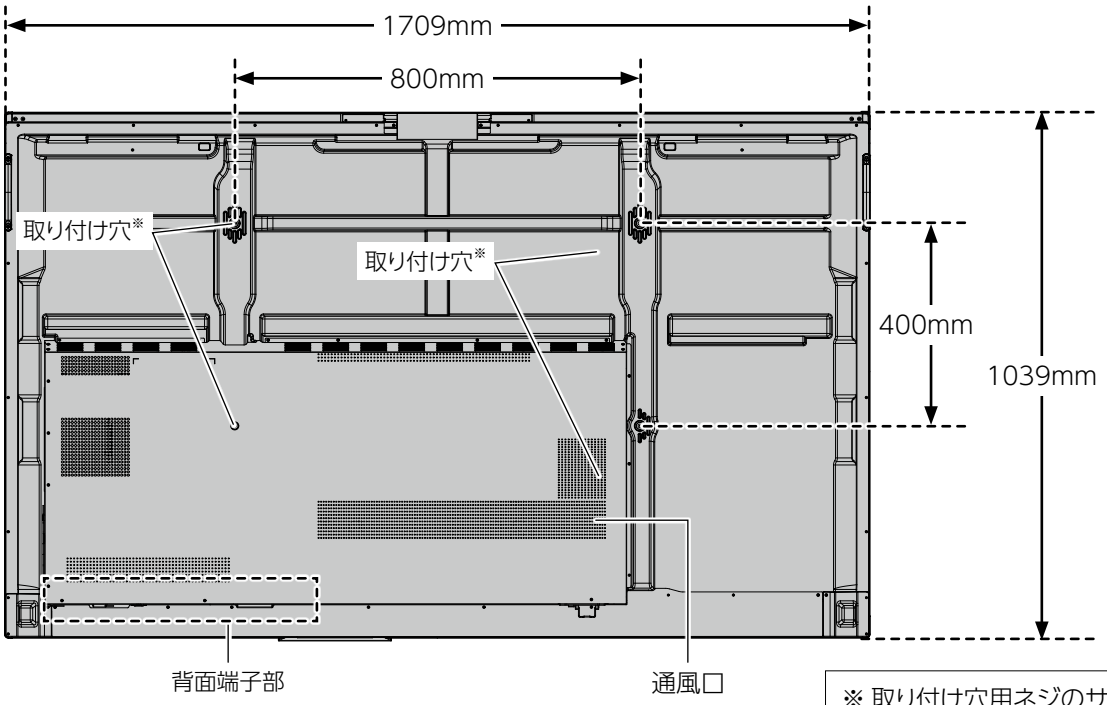
背面

M65CE4S



※ 取り付け穴用ネジのサイズ：M8×25

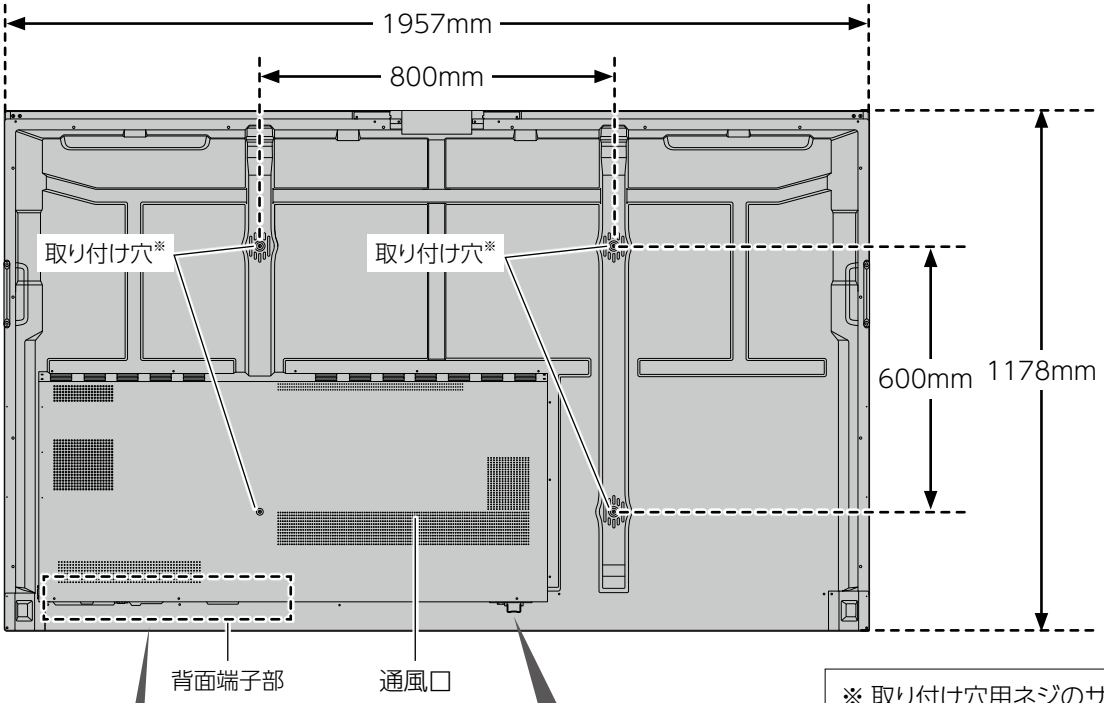
M75CE4S



※ 取り付け穴用ネジのサイズ：M8×25

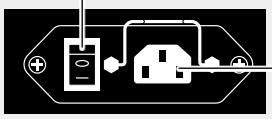
各部の名称と働き (続き)

M86CE4S



※ 取り付け穴用ネジのサイズ：M8×25

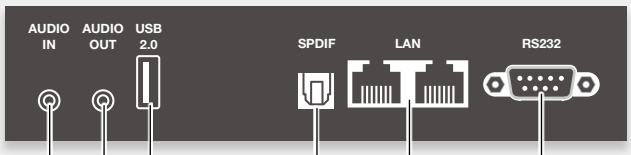
電源端子部



主電源スイッチ
主電源のオン/オフを切り替えます。
｜：オン　○：オフ

電源端子
電源コードを接続します。

背面端子部



音声入力端子 (ステレオミニジャック)：
ヘッドフォンケーブル(別売)を使ってPCなどを接続すると、接続した機器の音声を本機で再生できます。

オーディオ端子：
ヘッドフォンやアクティブスピーカーを接続します。

USB2.0端子：
キーボード、マウスなどのUSB機器を接続します。

RS232C端子：
本機をPCで制御するときに使用します。(クロスケーブル)

ネットワーク端子：
LANケーブルを使ってネットワークに接続します。

デジタル音声出力端子(SPDIF)：
光デジタルケーブルで音声を出力します。

設置について

注意

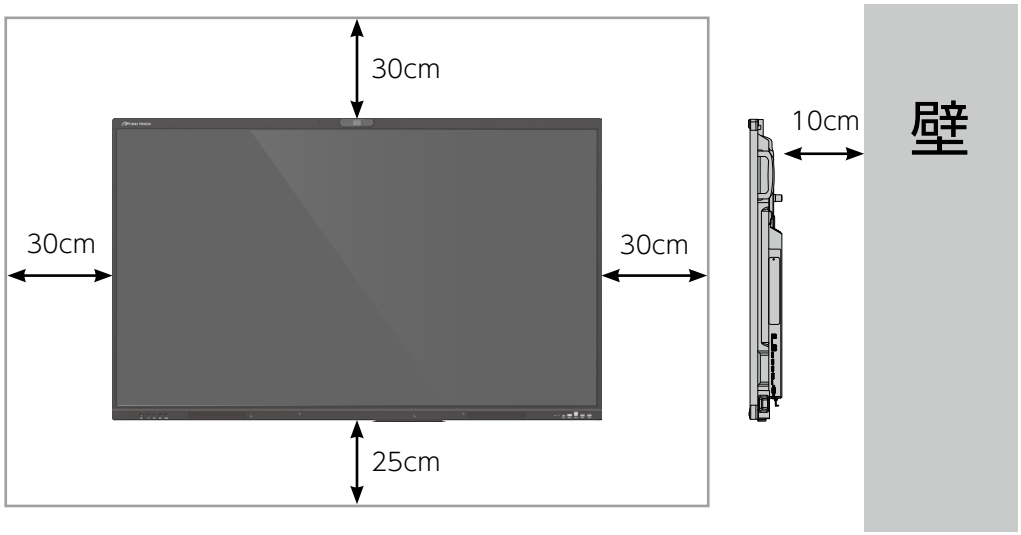
- 本機の設置や取りはずし、移動は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 設置・取りはずし・移動は、必ず4名以上でおこなってください。
  本体が落下してけがの原因になります。
- 本機を壁掛けしたり、天吊りにして使用する場合は、取り付け工事専門業者に依頼してください。取り付け、据え付けの不備による事故・損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 設置するときは、通風口をふさがないようご注意ください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。

設置条件

- 本製品は以下の環境でご使用ください。

周囲温度	0℃～ 40℃
周囲湿度	10 ～ 90%

- 雨や水しぶきが当たるおそれがあるところや湿度が高いところには設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度変化により結露して、内部が腐食し、故障の原因となります。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲から以下の距離を離し、風通しの良い場所に設置してください。



スタンドについて

スタンドは当社指定のものをお使いください。
当社指定以外のスタンドをお使いになるときは、販売店、設置業者、スタンドメーカーとご相談の上設置してください。

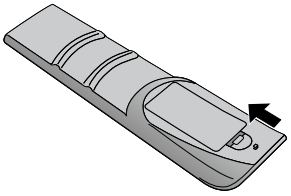
- 取り付け方法については、スタンド付属の説明書をご参照ください。
- 当社指定以外のスタンドを使って設置した場合に起こった製品の損傷や損害については、保証期間中であっても責任を負いかねますので、ご注意ください。

リモコンの準備と操作

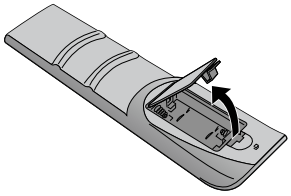
電池を入れる

1. リモコン裏面のカバーを開けます。

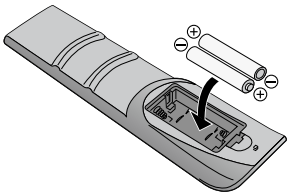
① カバーのつまみを押しながら、



② カバーを持ち上げます。

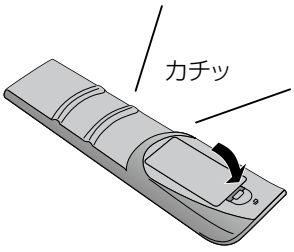


2. 付属の単4乾電池2本を入れます。



リモコン内部に記載している+／−の向き通りに入れてください。

3. カバーを取り付け、カチッと音がするまで閉めます。

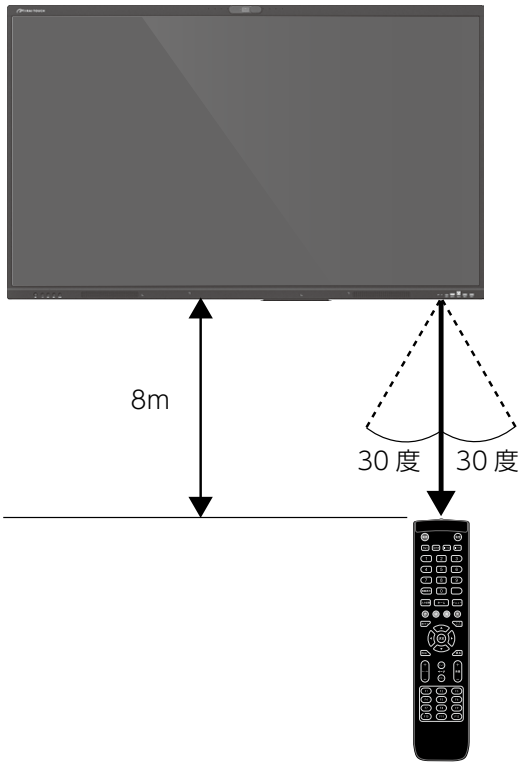


NOTE

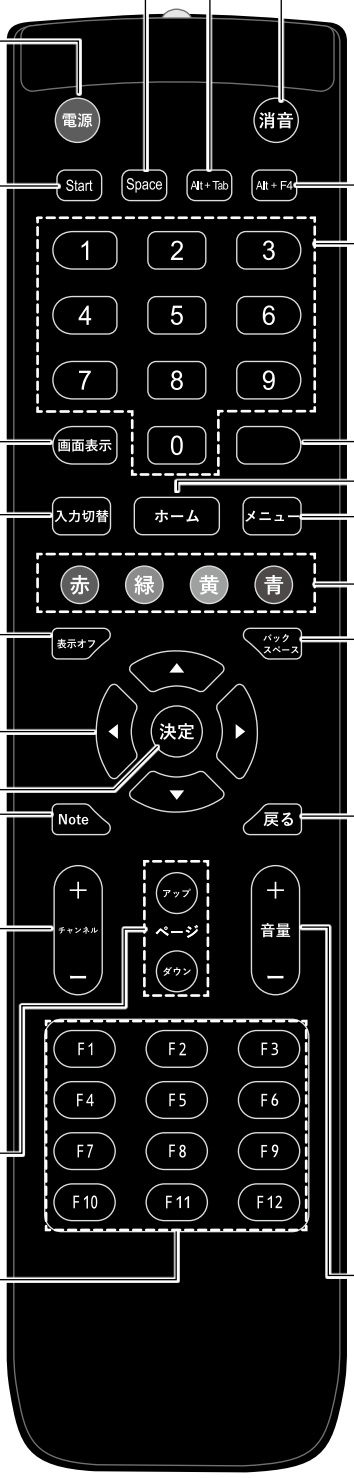
- 付属の乾電池は保管状態により、短時間で消耗することがあります。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコン受光部から8m以内で、上下左右30度の角度から操作可能です。



リモコン操作



Spaceボタン

電源ボタン
電源のオン・オフを切り替えます。

Startボタン

入力機器確認ボタン
現在画面に表示されている入力ソースの種類を表示します。

入力切替ボタン
入力ソース切り替え画面を表示します。

表示オフボタン
ディスプレイの表示をオフにします。

方向ボタン
カーソルキーを移動します。
Androidモード時は、マウスのカーソルを操作できます。

決定ボタン
ダイアログボックスなどで決定するときに押します。

ホワイトボードボタン
Androidモード時にホワイトボードソフトを起動します。

チャンネルボタン

ページアップ／ダウンボタン
ページを上下にスクロールします。

ファンクションボタン
F1 ～ F12のボタンが機能します。

Alt + Tabボタン

消音ボタン
音量を0にします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

Alt + F4ボタン

数字ボタン
数字を入力します。

本機では使用しません。

ホームボタン
ホーム画面を表示します。

画質調整メニューボタン
PCモードや映像入力している機器を表示しているときに画質調整メニューを表示します。

ファンクションボタン
赤：画面のタッチ、および前面パネルにあるボタン操作部の有効/無効を切り替えます。
緑：前面パネルにあるボタン操作部の有効/無効を切り替えます。
黄：画面タッチの操作の有効/無効を切り替えます。
青：画面の拡大／縮小操作ができるようになります（操作中は、タッチ操作が無効になります）。

バックスペースボタン

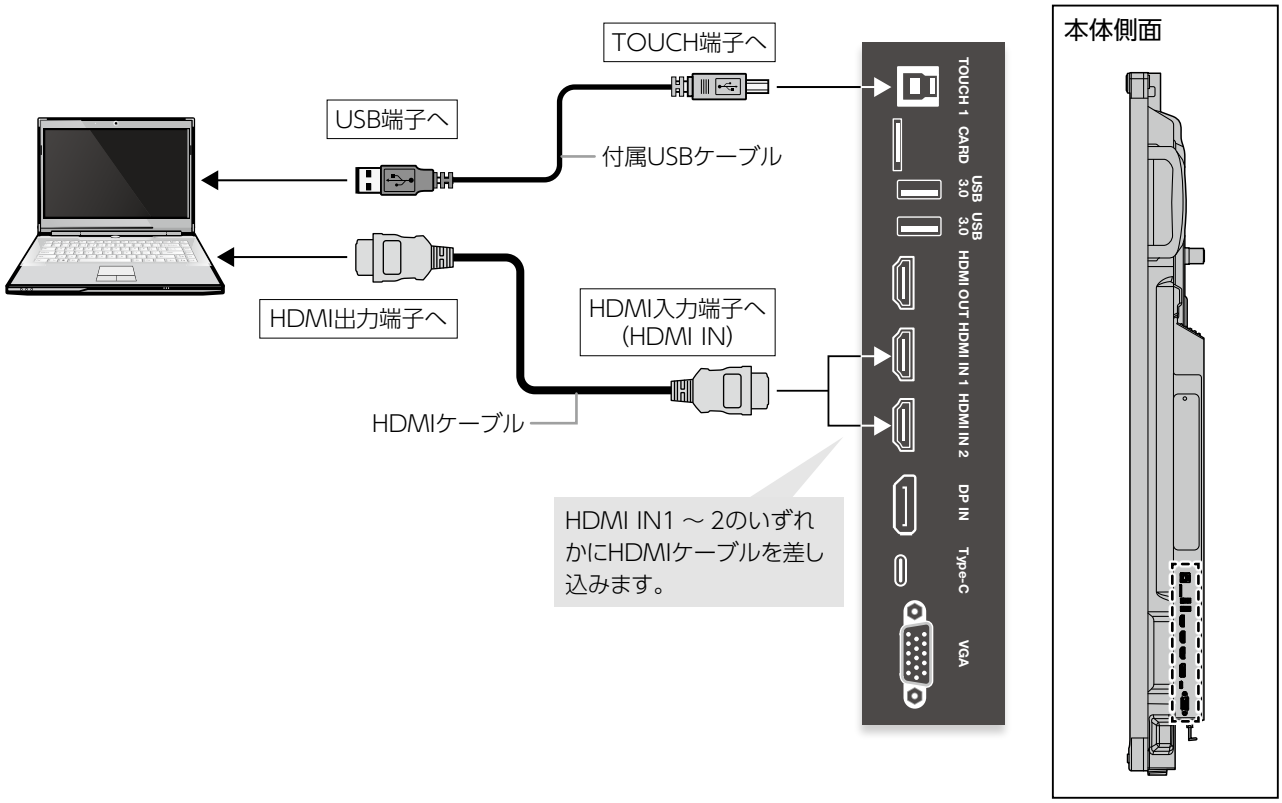
戻るボタン

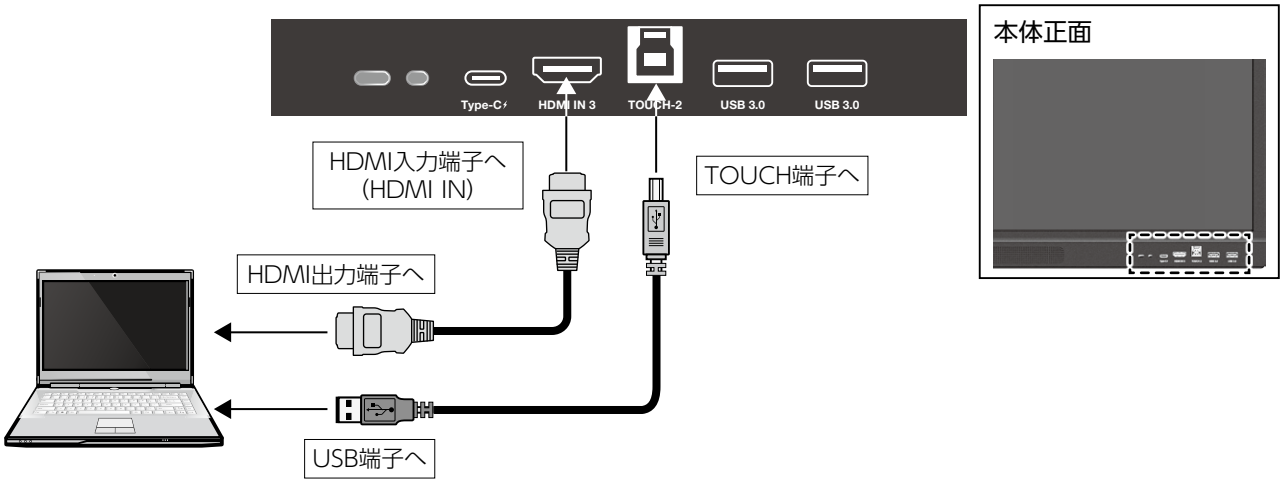
音量ボタン

機器を接続する

PCの画面を本機で表示する（映像・音声入力）

HDMI接続する場合





各HDMI端子に対応しているTOUCH端子は以下のとおりです。

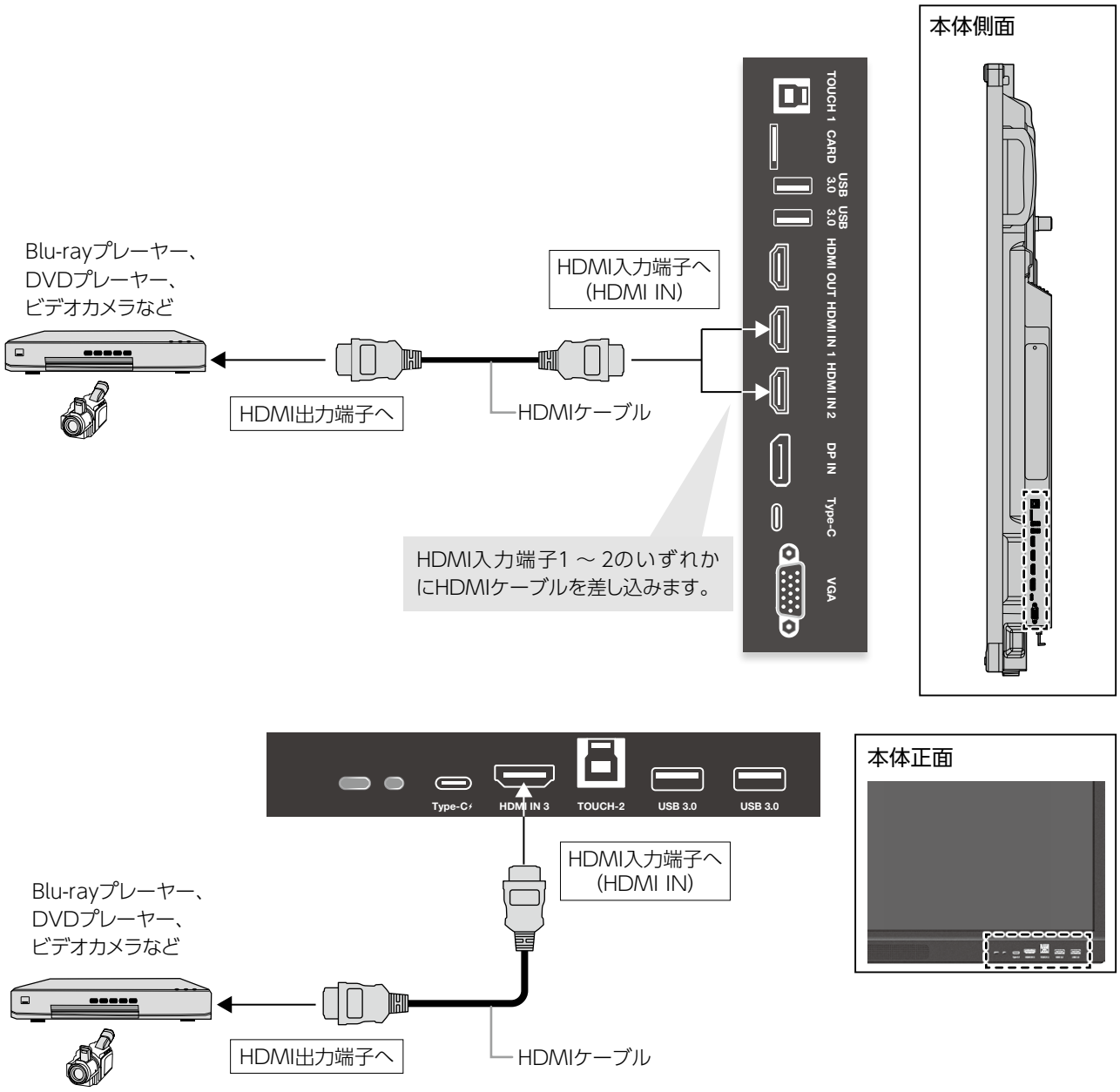
HDMI1	TOUCH1
HDMI2	
HDMI3	TOUCH2

NOTE

HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

接続機器の画面を本機で表示する（映像・音声入力）

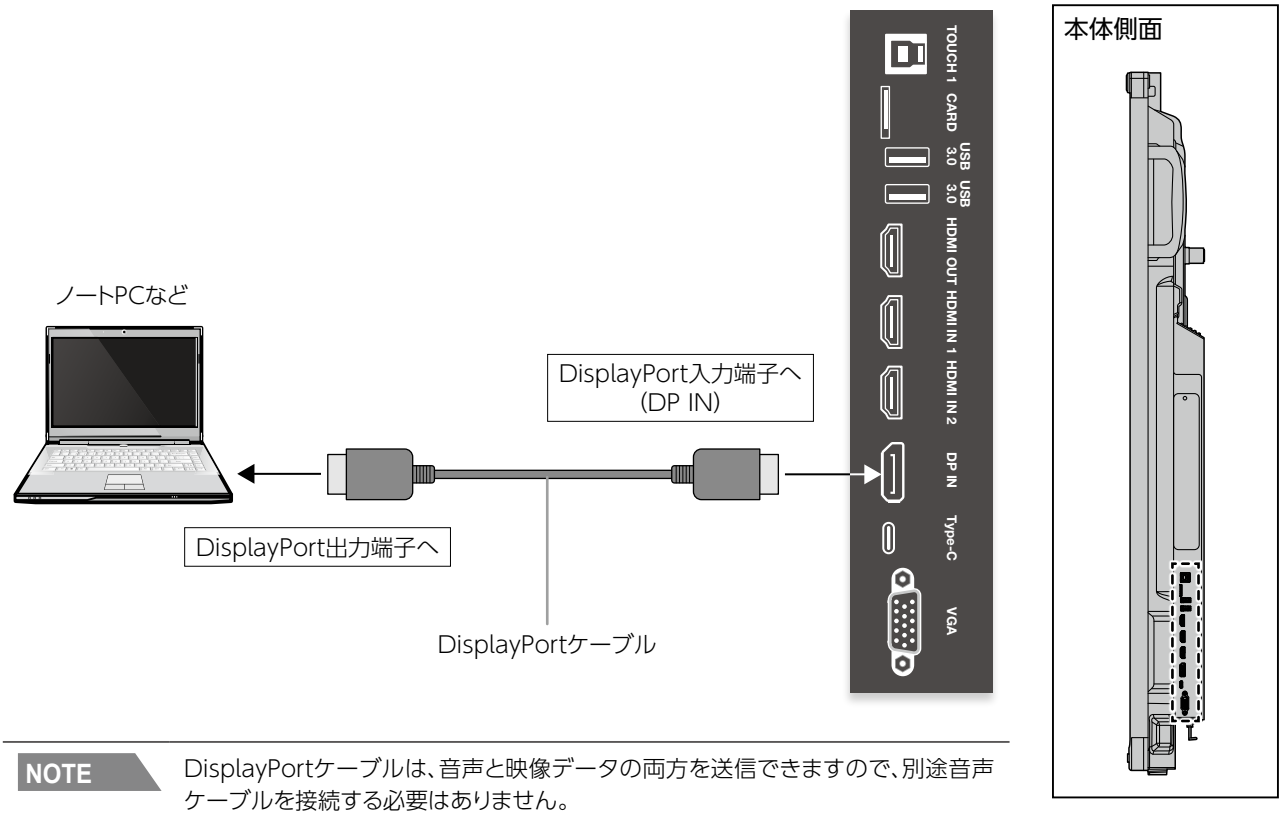
HDMI接続する場合



NOTE HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

機器を接続する (続き)

DisplayPort接続する場合

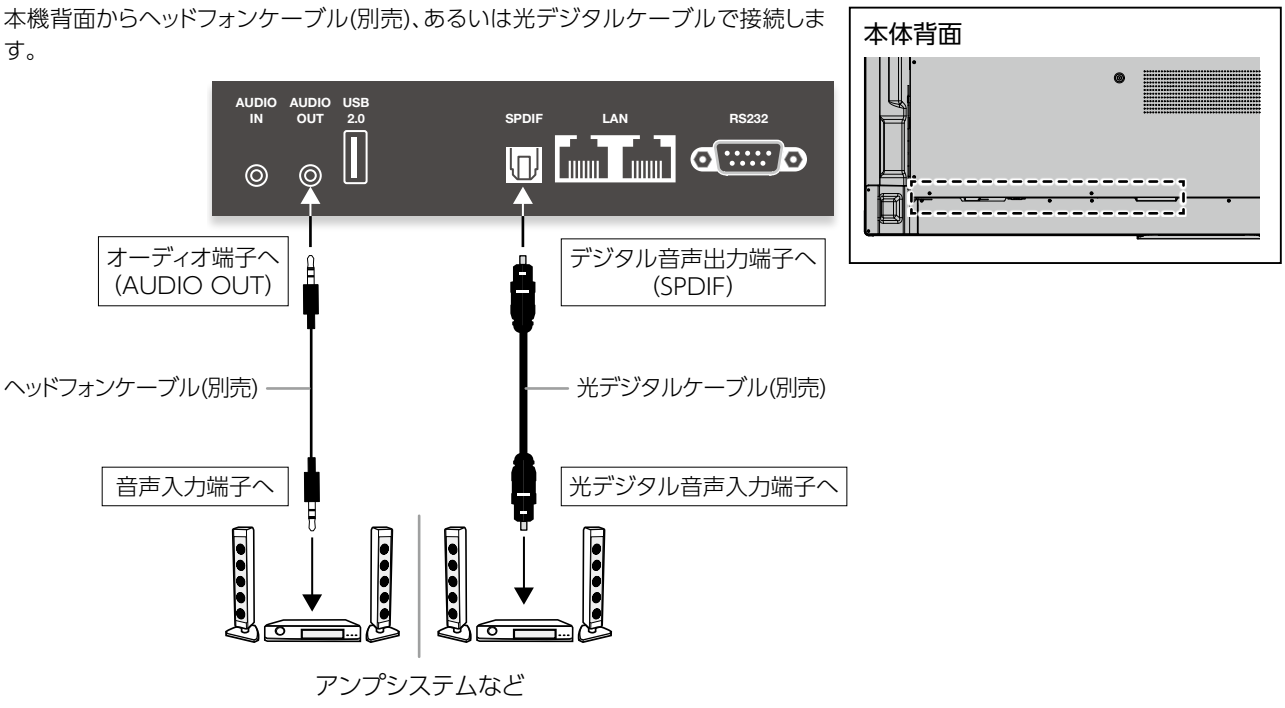


NOTE DisplayPortケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

本機の音声を他の機器で再生する（音声出力）

本機内蔵Androidの音声や本機に音声接続した機器を他の機器で再生する場合

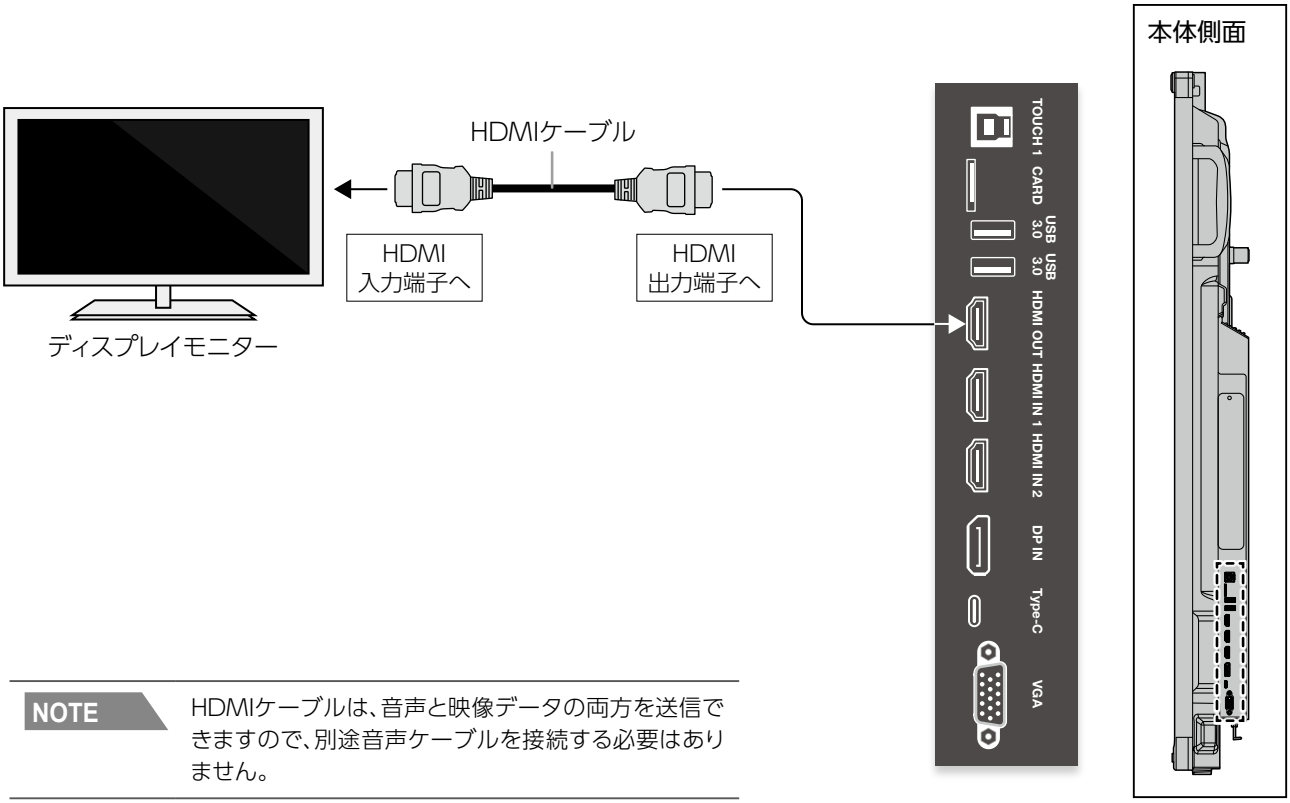
本機背面からヘッドフォンケーブル(別売)、あるいは光デジタルケーブルで接続します。



NOTE 音声出力を変更するには「設定>入出力>サウンド出力の設定」で変更が必要です。(P.53)

本機の画面をサブモニターなどで表示する（映像出力）

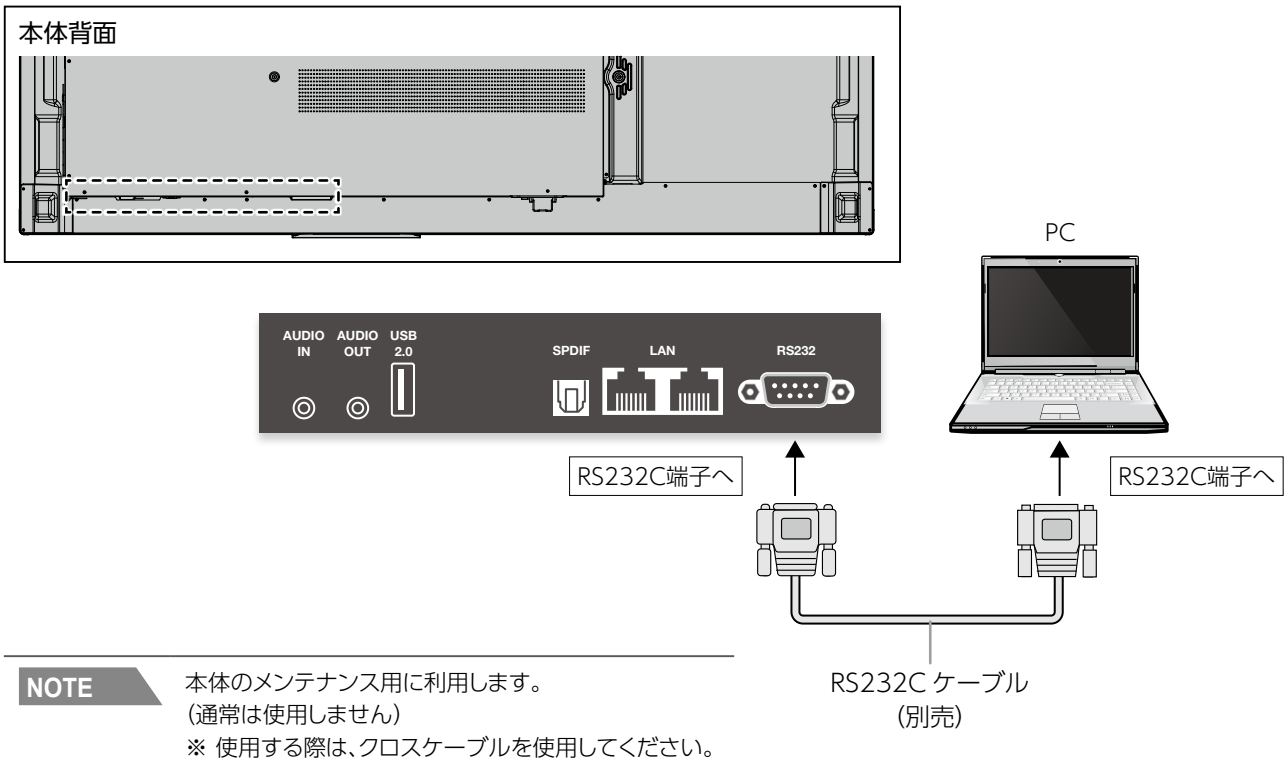
本機内蔵Android画面、VGA/HDMI/Type-C/DP入力画面を出力する場合



NOTE HDMIケーブルは、音声と映像データの両方を送信できますので、別途音声ケーブルを接続する必要はありません。

本機をPCから制御する（シリアル制御/サービス用端子）

本機のシリアル端子とPCを接続すると、PCから本機の一部の機能（電源オン／オフ、音量調節など）を制御することができます。

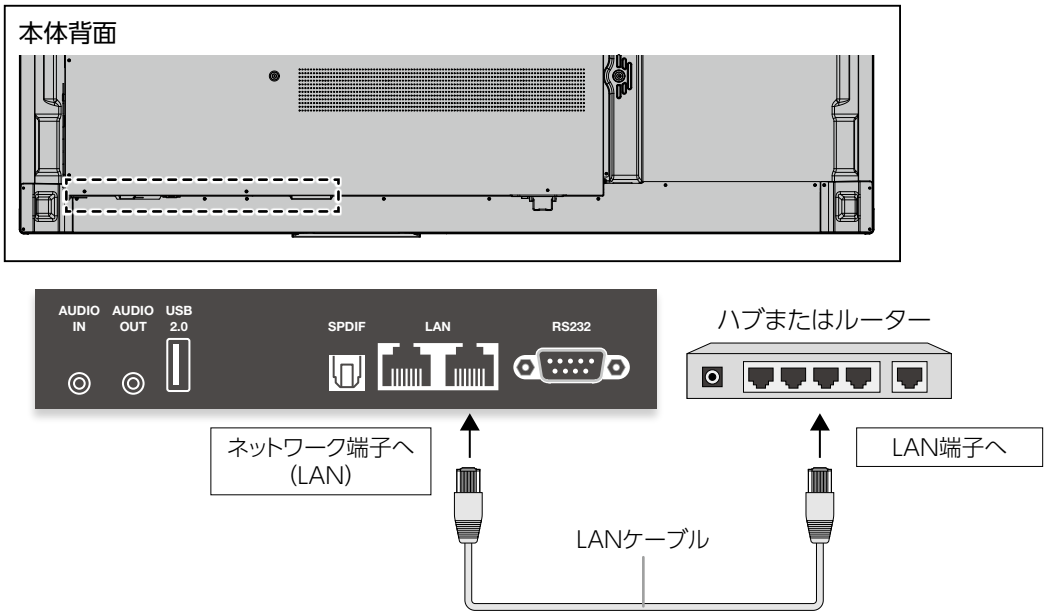


NOTE 本体のメンテナンス用に利用します。
（通常は使用しません）
※ 使用する際は、クロスケーブルを使用してください。

ネットワーク接続する

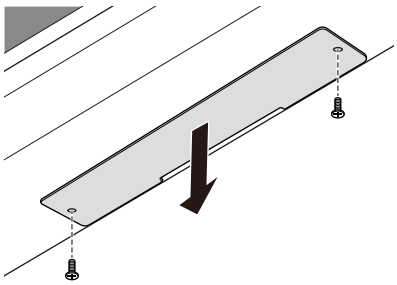
LANケーブルの接続

本機背面のネットワーク端子とハブまたはルーターのLAN端子をLANケーブル（別売り）で接続します。
ネットワークの設定は「詳細設定」の「ネットワーク」でおこないます。
ネットワークの設定内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。



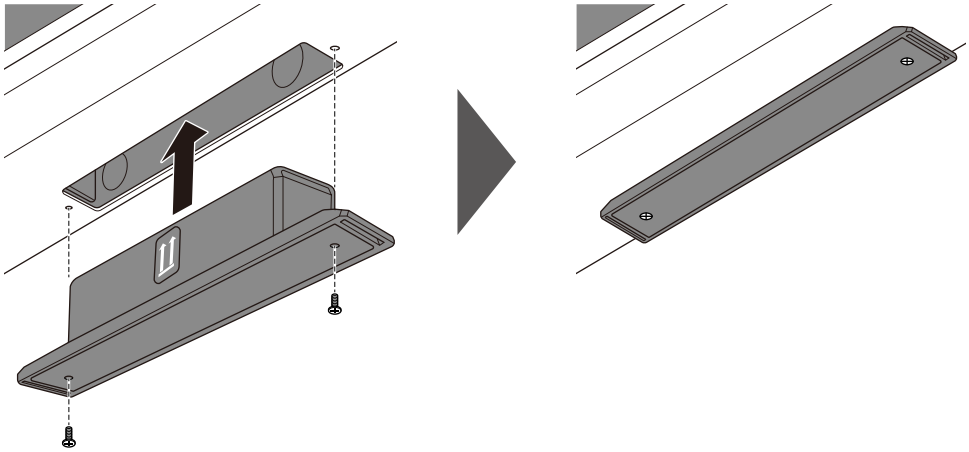
無線機器を取り付ける

1. **本体下部のネジを外し、ふたを取り外します。**



2. **無線ユニットを図の向きで取り付け、奥までしっかりと差し込みます。**

※ 手順1で外したネジで固定します。



注意

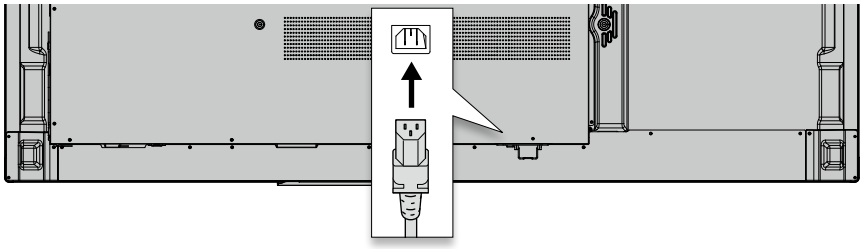
- 電子黒板の移動時は、WiFiモジュール破損防止のため、本体からWiFiモジュールを抜き取り、移動後に再度取り付けを行ってください。

電源を接続する

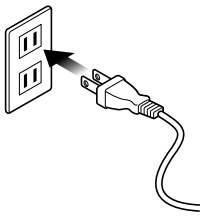
注意
- 電源コードは必ず本機付属のものをご使用ください。
- アースは必ず接続してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグとコンセントに接続する前におこなってください。
  また、アースを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してください。

1. 付属の電源コードを電源端子に差し込みます。

本体背面



2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源の入／切

電源を入れる

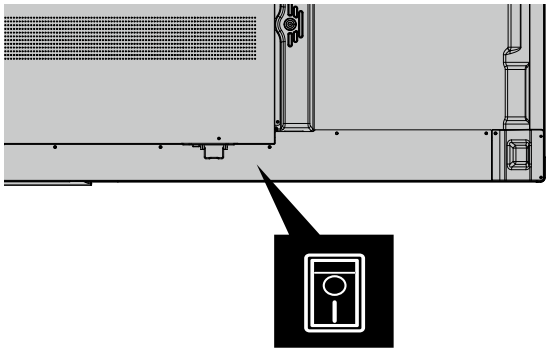
① 本体背面の主電源スイッチを (|)側にします。

② リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押します。

電源を切る

① リモコンの電源ボタンを長押しするか、前面パネルの電源ボタンを長押ししてシャットダウンします。

② 本体背面の主電源スイッチを (○)側にします。



主電源スイッチ

注意
- 本体のシャットダウンが完了する前に本体背面の主電源をオフにしないでください。

スタンバイモード

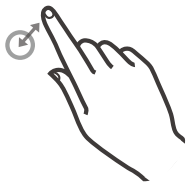
リモコンの電源ボタンを押すか、前面パネルの電源ボタンを押すと、画面が消えスタンバイモードになります。

タッチ操作

本機では、指や付属のペンでタッチ操作ができます。

おもなタッチ操作

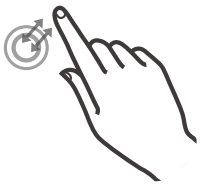
タップ（シングルタップ）



一度短くタッチします。

主な役割
- 項目やアイコンを選択
- Android OSでアプリを起動
- OPSでマウスの左クリックの動作

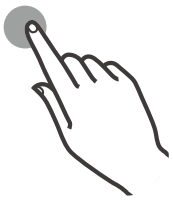
ダブルタップ



同じ場所をすばやく2回タッチします。

主な役割
- OPSでマウスのダブルクリックの動作（ファイルを開くなど）

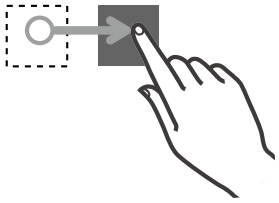
長押し



タッチしたまましばらく指を画面に触れたままにします。

主な役割
- OPSで右クリックの動作

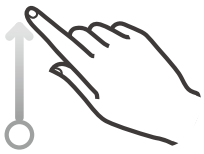
ドラッグアンドドロップ



アイコンやスライドをタッチしたまま画面から指を離さずに移動して、指定の地点で指を離します。

主な役割
- アイコンの移動
- スライドを動かす

スワイプ／フリック



画面にタッチしたまま指を移動します（スワイプ）。指をすばやく払うようにすると、フリックになります。

主な役割
- ページをスクロール
- 画面下中央部からスワイプ／フリックしてクイック設定メニューを表示

2点長押し

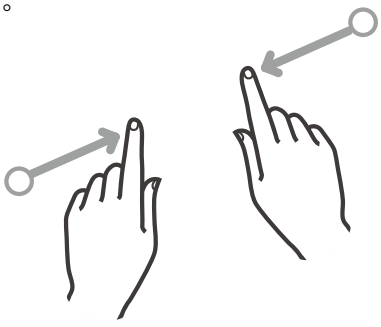


2点を同時に長押しします。

主な役割
- ポップアップメニューを表示（2点間の距離は2 ～ 5cm離してください）

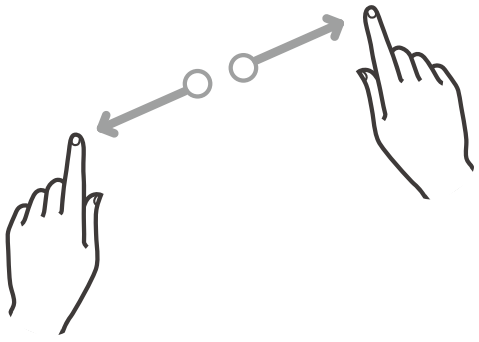
ズームイン

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を狭めます。



ズームアウト

2点同時に画面にタッチし、そのまま2点間の距離を拡げます。



注意！ 画面をタッチするときは、必ず指先か付属のタッチペンをお使いください。
ツメやボールペンなど先の尖ったものや固いものでタッチすると、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

基本的な操作方法

ホーム画面



Finder	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。 → 35 ページ「ファイルを参照する (Finder)」		クイック設定メニューを表示します。 →46 ページ「クイック設定」
MIRAI NOTE	ホワイトボードのような使い方ができます。 → 31 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」		アプリ一覧画面を表示します。 →30 ページ「アプリ一覧画面を開く」
Chrome	インターネットブラウザを起動して、ウェブページを閲覧します。 →36 ページ「ウェブページを見る」		

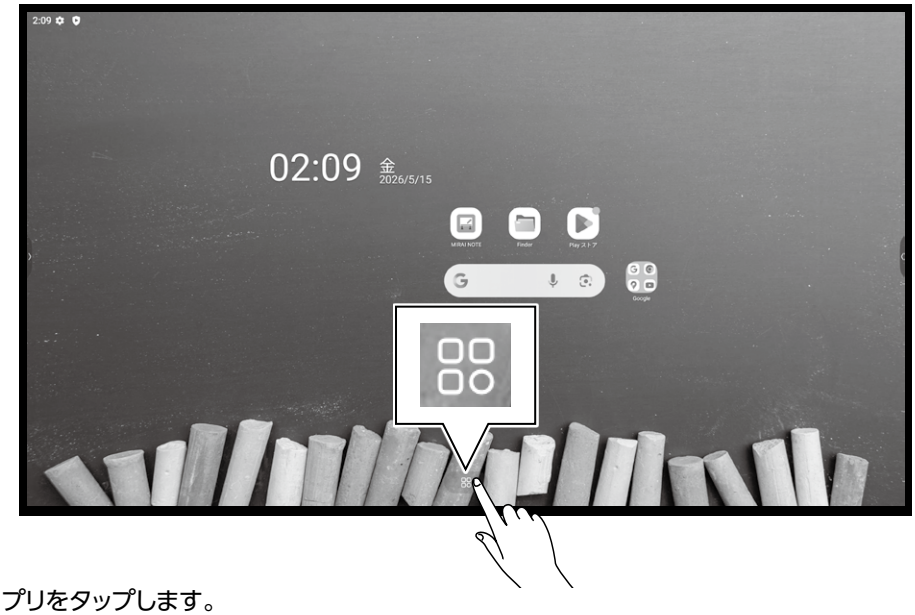
	有線LANが接続されている。		無線LANが接続されている。
	有線LANが接続されていない。		無線LANが接続されていない。
	USBメモリが電子黒板に接続されている。		無線LANが有効になっているが、ネットワークに接続していない。
表示がない場合	無線ユニットが取り付けられていない。		

基本的な操作方法 (続き)

ホーム画面 (Launcher切替)

以下の方法でホーム画面を「Standard Launcher」に変更してください。

1. 画面中央下部のアプリー覧アイコンをタップします。

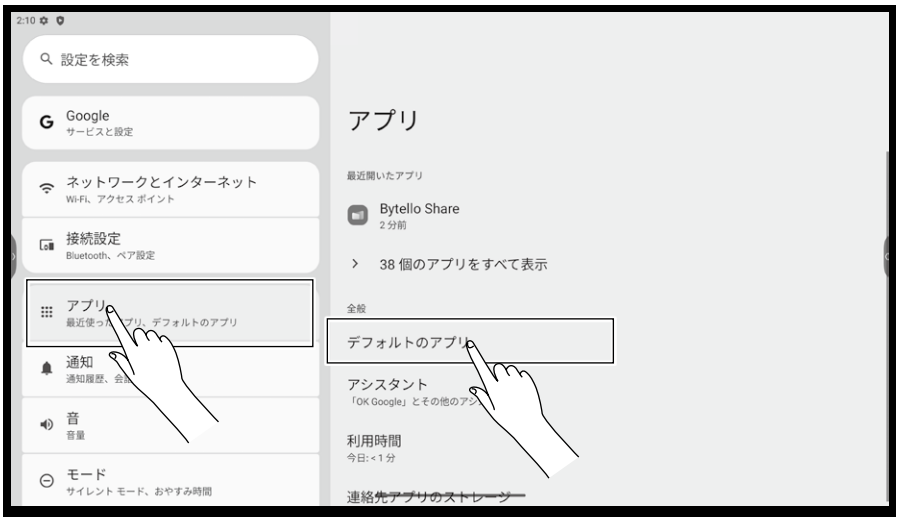


2. アプリー覧画面から「設定」アプリをタップします。

設定画面が表示されます。



3. 設定画面の「アプリ」から「デフォルトのアプリ」をタップします。



4. 「ホームアプリ」をタップします。



5. 「Standard Launcher」を選択します。



6. ホーム画面が「Standard Launcher」画面に切り替わります。



基本的な操作方法 (続き)

クイック設定メニュー

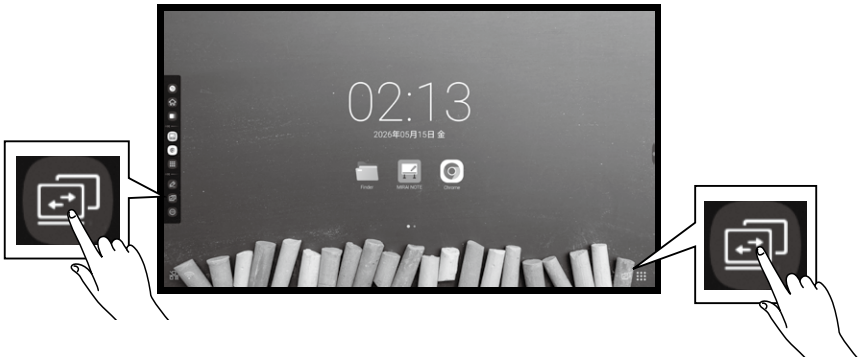
表示する画面を切り替えたり、画面の明るさや音量などを調節できます。

→46 ページ「クイック設定」

表示方法

クイック設定メニューの表示方法は以下の3通りあります。

ホーム画面、またはサイドメニューから「メニュー」を選択する。



リモコンの入力切替ボタンを押す。





サイドメニューを表示する

表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャを撮ることができます。
システム設定>一般>フロートバーの設定（52ページ参照）で、サイドメニューを使用するか、ポップアップメニューを使用するかの選択ができます。(両方を同時に使用することはできません)
初期設定ではサイドメニューを使用する設定になっています。

表示中の画面の右側、または左側から選択することによって、各種アプリケーションをすばやく起動することができます。



■ ツール一覧

コメント	ペイントモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。	Air Class	Air Classを起動します。(P.42)
入力切替	入力切替メニューを表示します。	スポットライト	画面の一部だけ表示して、他は見えなくします。
OPS	OPSを起動します。	録画	画面を録画します。 (参考：10分録画で約100MB前後利用)
Bytello Share	Bytello Shareを起動して、同一ネットワーク内の端末の画面を電子黒板に映すことができます。	拡大縮小	表示画面を拡大させます。
タイマー	タイマー画面を表示します。	ScreenLock	画面をロックします。
切り取り	画面の一部を切り取ります。	QR	QRコードを読み込みます。
ストップウォッチ	ストップウォッチ画面を表示して、時間を計測することができます。	ディスプレイセンター	複数のディスプレイを接続することができます。
PIP	外部チャンネル画面をAndroidチャンネル上に表示させることができます。		

基本的な操作方法 (続き)

ポップアップメニューを表示する

画面上を2点長押しすると、ポップアップメニューが表示されます。
表示中の画面に注釈を入れたり、キャプチャを撮ることができます。
システム設定>一般>フロートバーの設定（52ページ参照）で、サイドメニューを使用するか、ポップアップメニューを使用するかの選択ができます。(両方を同時に使用することはできません)
初期設定ではサイドメニューを使用する設定になっています。



	1つ前の画面に戻ります。
	アプリメニューを表示します。表示アプリは使用履歴によって異なります。
	ペイントモードになり、画面をタッチして線を描くことができます。
	ホーム画面を表示します。

アプリのショートカットを表示する

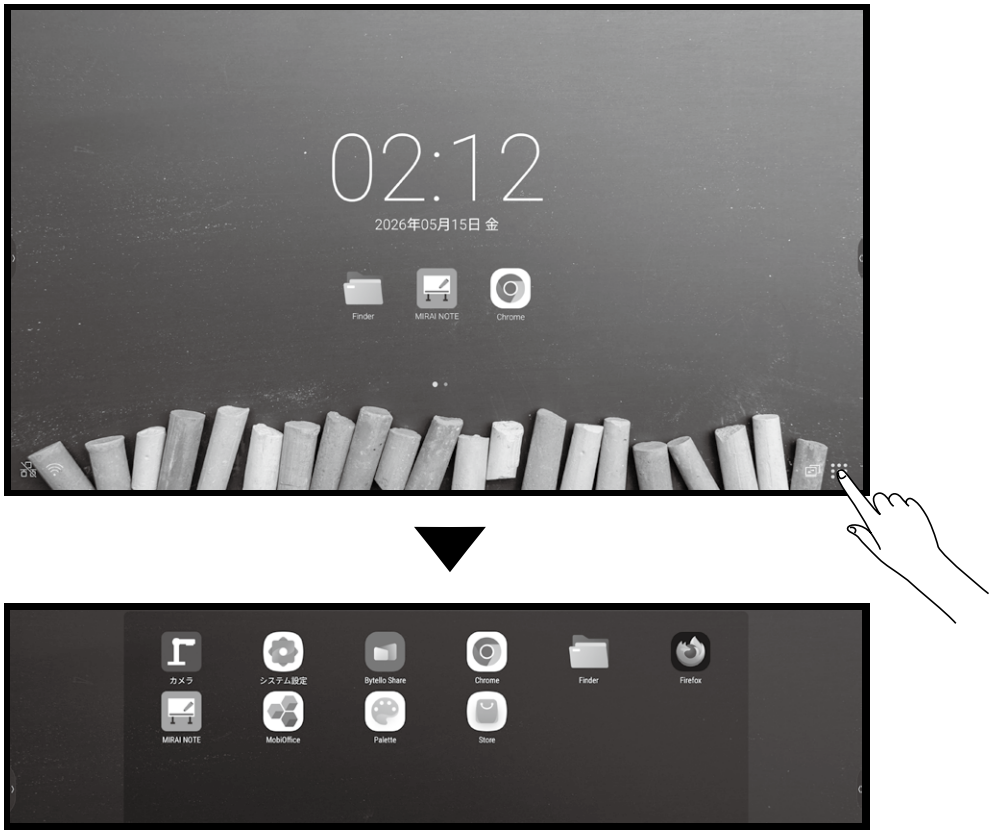
ホーム画面をスワイプすると、アプリのショートカットが一覧で表示されます。



基本的な操作方法 (続き)

アプリー覧画面を開く

ホーム画面で右下のアイコンをタップすると、アプリー覧画面が表示されます。



アプリの説明

カメラ	本機内蔵のUSBカメラの映像を表示します。 →37 ページ「カメラを使う (カメラ)」	Firefox	インターネットブラウザを起動して、ウェブページを閲覧します。 →36 ページ「ウェブページを見る」
システム設定	詳細設定画面を表示します。 →49 ページ「詳細設定」	MIRAI NOTE	ホワイトボードのような使い方ができます。 →31 ページ「ホワイトボードソフトを使う (MIRAI NOTE)」
Bytello Share	同一ネットワーク内の端末の画面を電子黒板に映すことができます。 → 39 ページ「ワイヤレスミラーリングソフト (Bytello Share)」	MobiOffice	Microsoft Officeファイルやpdfファイルを開くことができます。
Chrome	インターネットブラウザを起動して、ウェブページを閲覧します。 →36 ページ「ウェブページを見る」	Store	Store内のアプリケーションを追加インストールできます。
Finder	本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN・FTPサーバー上のファイルを閲覧することができます。 →35 ページ「ファイルを参照する (Finder)」		

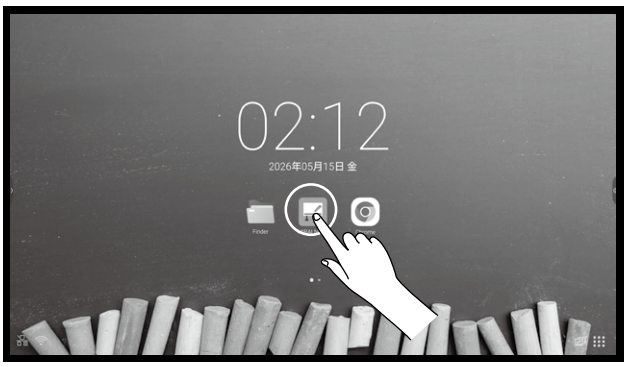
※ 上記、未記載のアプリケーションについては、各アプリケーション事業者が提供する取扱説明書もしくはWebサイトをご確認ください。

ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）

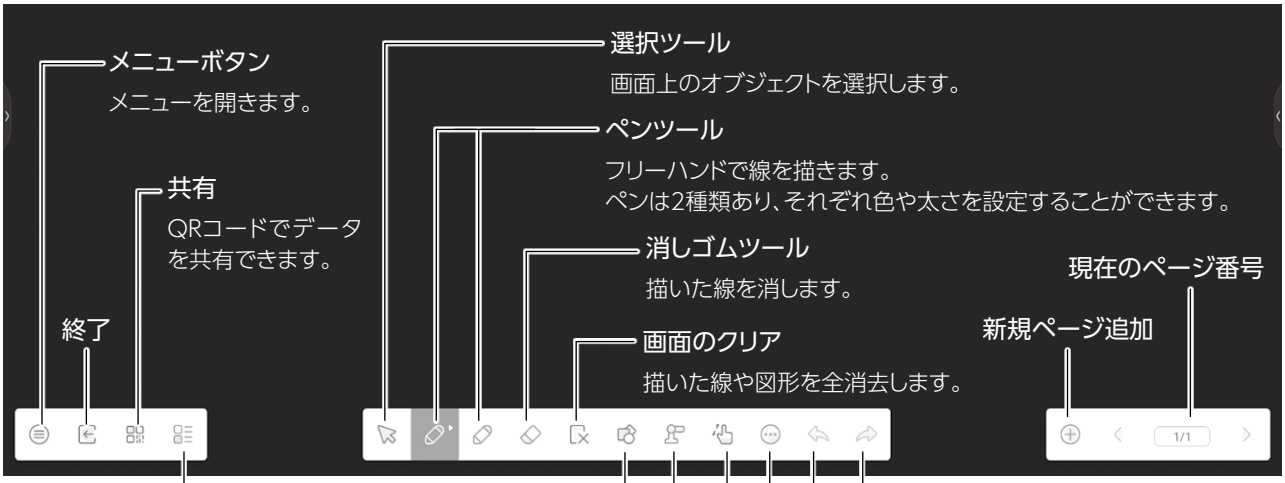
画面上をなぞることで、ホワイトボードと同じように線を描けます。
描いた画は保存することができます。

起動方法

ホーム画面から「MIRAI NOTE」アプリをタップします。



画面説明



メニューボタン
メニューを開きます。

共有
QRコードでデータを共有できます。

終了

選択ツール
画面上のオブジェクトを選択します。

ペンツール
フリーハンドで線を描きます。
ペンは2種類あり、それぞれ色や太さを設定することができます。

消しゴムツール
描いた線を消します。

画面のクリア
描いた線や図形を全消去します。

現在のページ番号

新規ページ追加

プロジェクト
各種プロジェクトファイルを参照します。

図形ツール
さまざまな形の図形を描きます。

書画カメラモード
内蔵のカメラや本機に接続しているUSBカメラの映像に切り替えます。
(37ページ参照)

表示範囲移動ツール
ドラッグで表示範囲を移動することができます。

やり直し
元に戻した操作を取り消します。

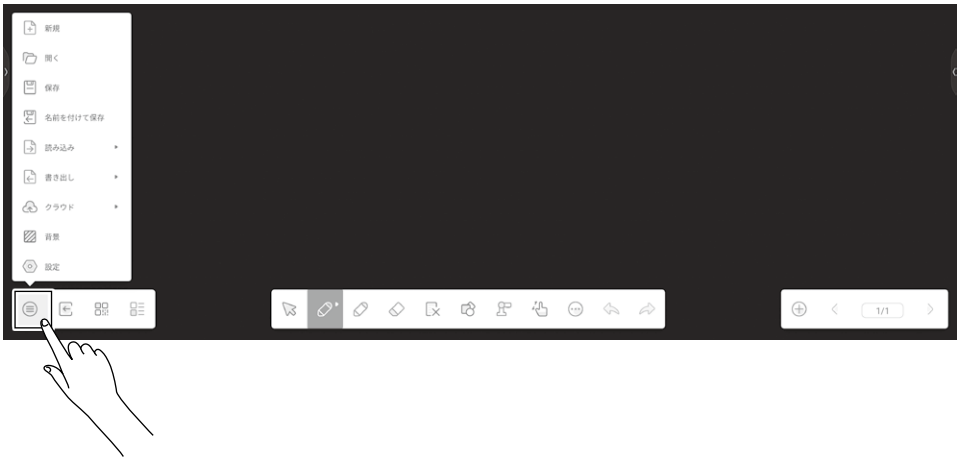
元に戻す
直前の操作を元に戻します。

その他
その他メニューが表示されます。

ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）(続き)

メニューについて

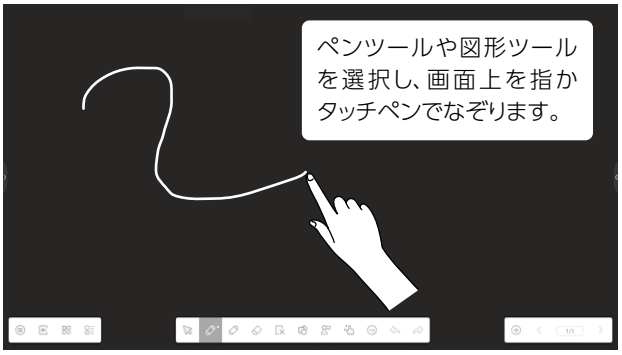
メニューボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。

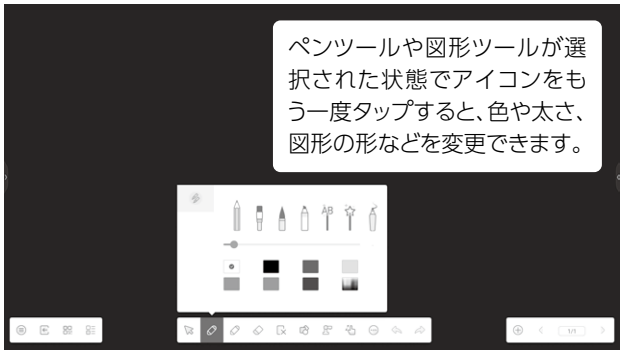


新規	新規にホワイトボードを作成します。
開く	作成したNoteファイルを開きます。
保存	作成したNoteファイルを保存します。
名前を付けて保存	作成したNoteファイルを新しいファイル名で保存します。
読み込み	IMG、PDF、SVG、IWB、VIDEOファイルを読み込みます。
書き出し	IMG、PDF、SVG、IWBファイルに書き出すことができます。
クラウド	データを登録したクラウドサービスに保存します。
背景	Noteの背景を変更します。
設定	各種設定を変更します。

描く、消す

線や図形を描く



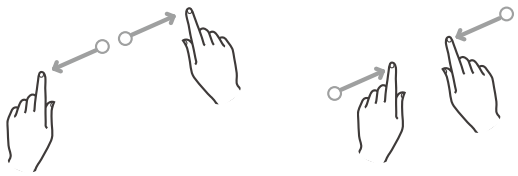


線を消す

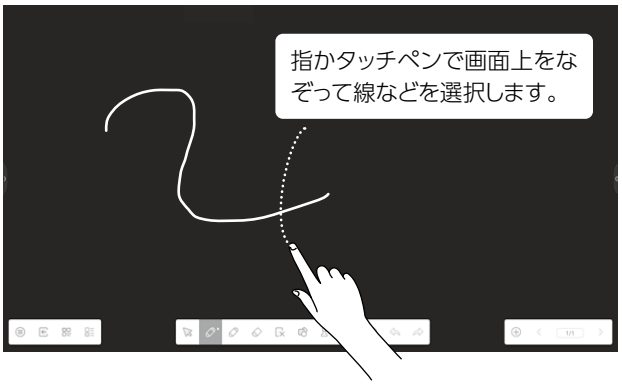


ヒント

タッチ操作でズームイン/ズームアウトできます。

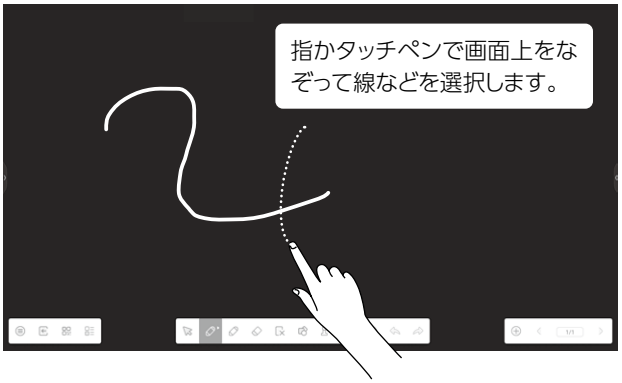


選択モード





消しゴムモード

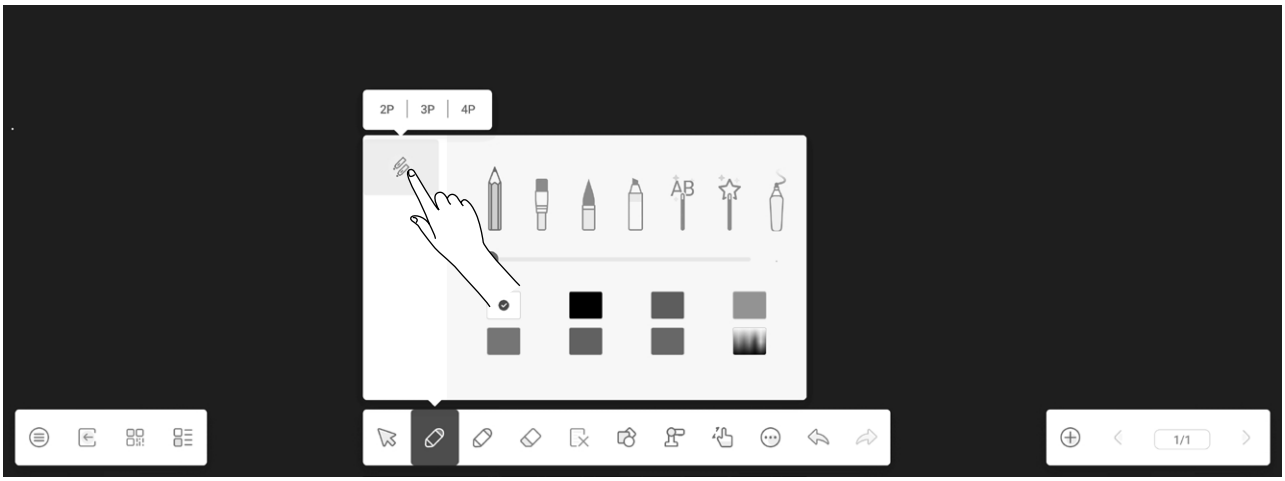




ホワイトボードソフトを使う（MIRAI NOTE）(続き)

同時書き込みモード

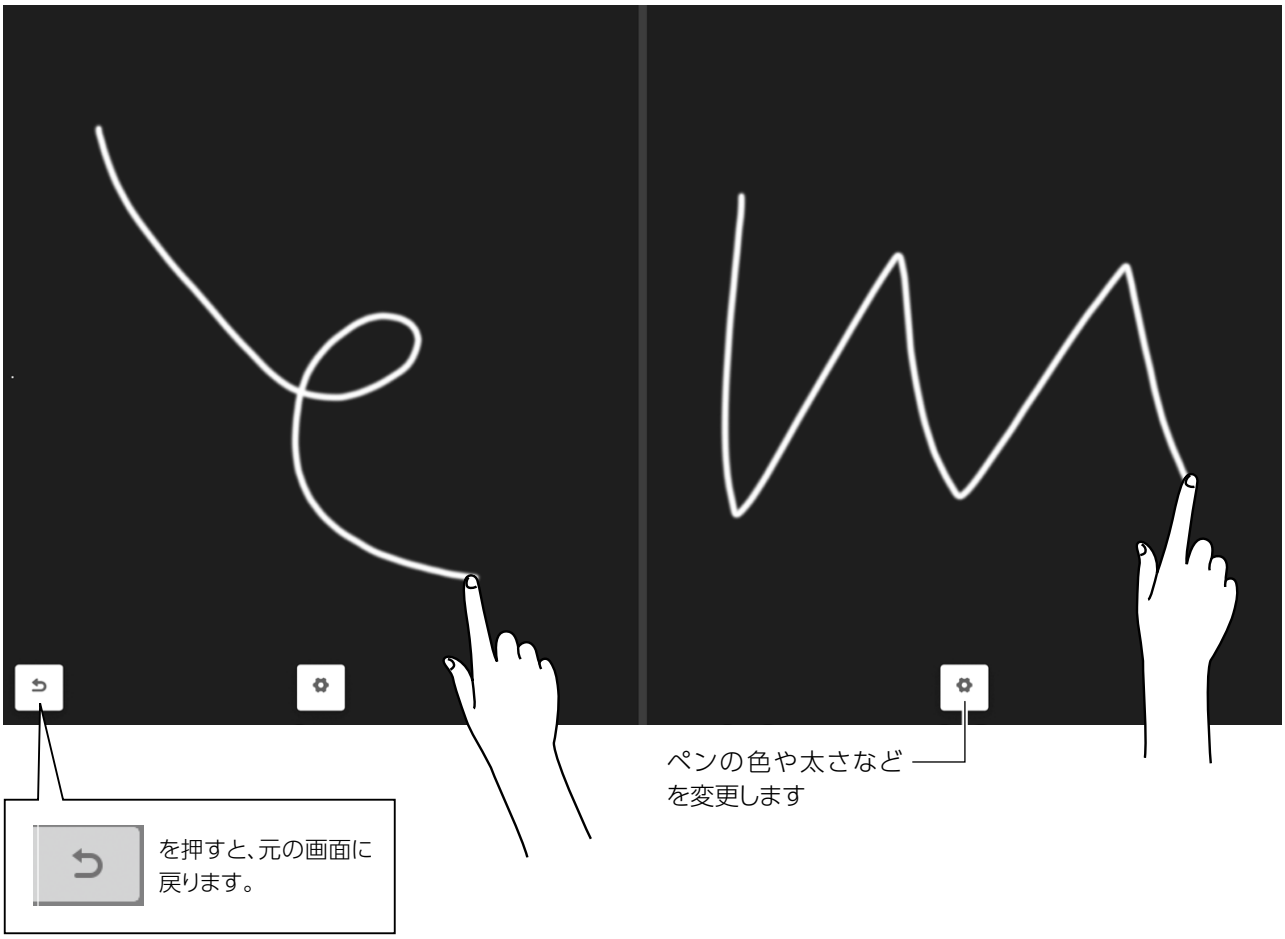
同時書き込みモードにすると、最大4人が同時に書き込んだり、線を削除することができます。



アイコンをタップし、同時使用する人数を選択します。
(2P：2人、3P：3人、4P：4人)

▼

同時書き込みモードに切り替わります。



ペンの色や太さなど
を変更します

を押すと、元の画面に
戻ります。

ファイルを参照する（Finder）

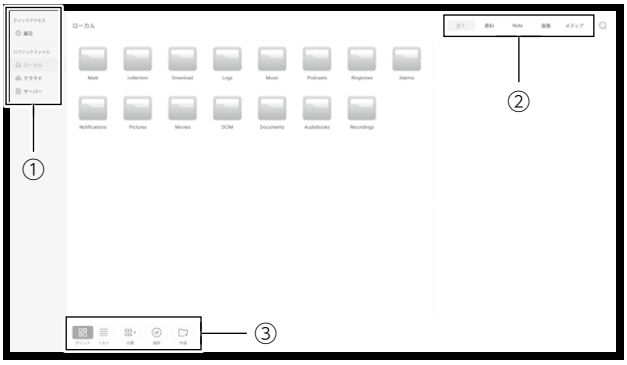
本機に保存されているファイルや本機に接続したUSBメモリ、またはLAN上のファイルを閲覧することができます。

起動方法

ホーム画面から「Finder」アプリをタップします。



操作方法



ヒント

オフィスタイプのファイルを開いたときは、以下のいずれかの方法で元の画面に戻ることができます。

- サイドメニューの ⮌ をタップする。
- リモコンの ⮌ ボタンを押す。

①	ファイルを参照する場所を選択します。	
	クイックアクセス	最近使ったファイルなどへのアクセスができます。
	ローカル	本機内にあるファイルを表示します。
	クラウド	Google ドライブおよびOneDriveが利用できます。
	サーバー	LAN内のファイルサーバーを表示します。
②	表示するファイルの種類を選択します。	

③	グリッド リスト	グリッド表示とリスト表示を切り替えます。
	分類	ファイルの並び替えをします。 (名前/種類/サイズ/日時)
	選択	ファイル選択モードになります。 選択モード中は以下のアイコンが表示されます。
	コピー	ファイルのコピー
	貼り付け	ファイルの貼り付け
	切り取り	ファイルの切り取り
	消去	ファイルの削除
	名前の変更	ファイル名の変更
	Share	ファイルの共有
	作成	あらたにフォルダを作成します。

ウェブページを見る

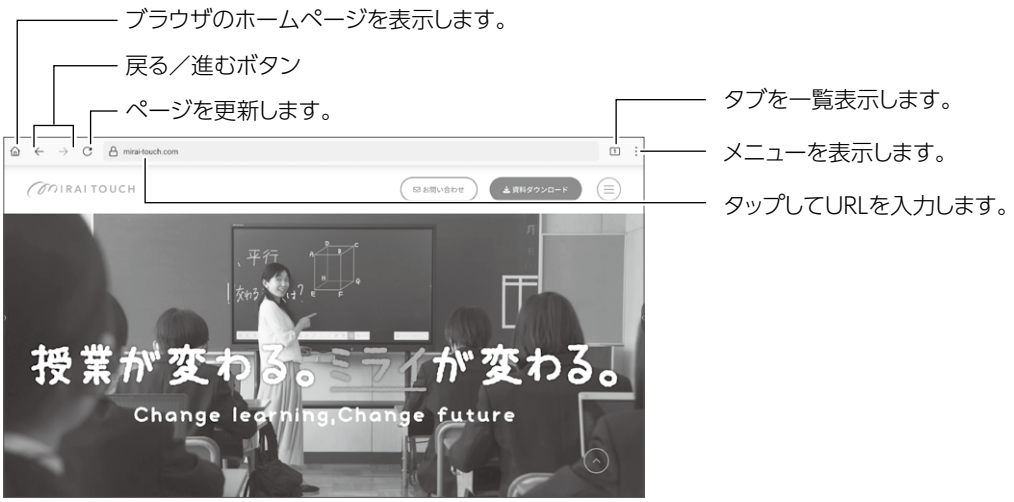
ウェブページを見るためにはインターネットに接続している必要があります。

起動方法

アプリ一覧画面から「Firefox」または「Chrome」アプリをタップします。



操作方法（Firefoxの例）



ホーム画面に戻るときは、リモコンかサイドメニュー、ポップアップメニューのホームボタンを押してください。

カメラを使う（カメラ）

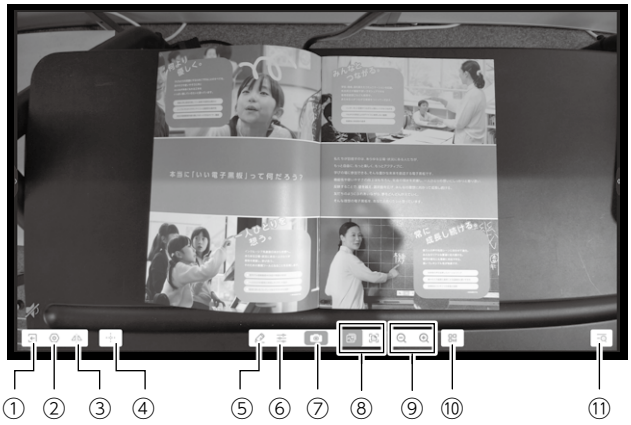
内蔵のカメラもしくは接続されたUSBカメラの映像を本機に映し出したり、撮影することができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「カメラ」アプリをタップします。



操作方法



①	カメラを終了します。
②	解像度を設定します。
③	左右を反転します。
④	カメラ画面にガイド線を表示します。 

カメラを使う（カメラ）(続き)

<table>
<tr><td>⑤</td><td>ペイントツールを開きます。
<table>
<tr><td></td><td>タップごとにブラシの色を変更します。</td></tr>
<tr><td></td><td>指示ペンで線を描きます。</td></tr>
<tr><td></td><td>描いた線をすべて消去します。</td></tr>
<tr><td></td><td>画面のスクリーンキャプチャを撮ります。
ペイントモードで描いた線も一緒に撮影されます。
撮影された画像は「/Storage/Comment/[日付]」フォルダに保存されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>静止状態を解除します。</td></tr>
<tr><td></td><td>MIRAI NOTEに貼りつけます。</td></tr>
<tr><td></td><td>サブメニューを閉じます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>画面設定を開きます。
<table>
<tr><td>サイズ</td><td>フルスクリーンとオートズームを切り替えます。</td></tr>
<tr><td>回転</td><td>画面を右または左に90°回転させることができます。</td></tr>
<tr><td>モード</td><td>被写体の種類によって最適な表示になるように、モードを切り替えます。(普通／文字／写真)</td></tr>
<tr><td>詳細設定</td><td>「輝度」「コントラスト」「色調」「シャープネス」を調整します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>スクリーンキャプチャを撮ります。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>全画面表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>自動的に領域を認識します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>画面を拡大／縮小します。</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>QRコードを読み込みます。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>比較モード画面を開きます。</td></tr>
</table>

ワイヤレスミラーリングソフト（Bytello Share）

同一ネットワーク内の端末の画面を電子黒板に映すことができます。

起動方法

アプリ一覧画面から「Bytello Share」アプリをタップします。



「Bytello Share」アプリが起動します。



端末にBytello Shareアプリをインストールし、接続番号を入力すると、接続されている端末の画面を電子黒板に表示させることができます。

ワイヤレスミラーリングソフト（Bytello Share）(続き)

メニュー

「メニュー」をタップすると、以下のメニューが表示されます。



① 画面グループ

他電子黒板へ画面を共有、または画面を受信したりします。

② 設定



接続条件を設定します。お使いの端末に応じて設定を変更してください。

※ バージョンによって機能変更となる場合があります。

③ バージョン情報



お問い合わせ時に必要な情報です。

画面を切り替える

本機に映像入力している機器の画面の切り替えをおこないます。

起動方法

サイドメニューから「メニュー」を選択する。

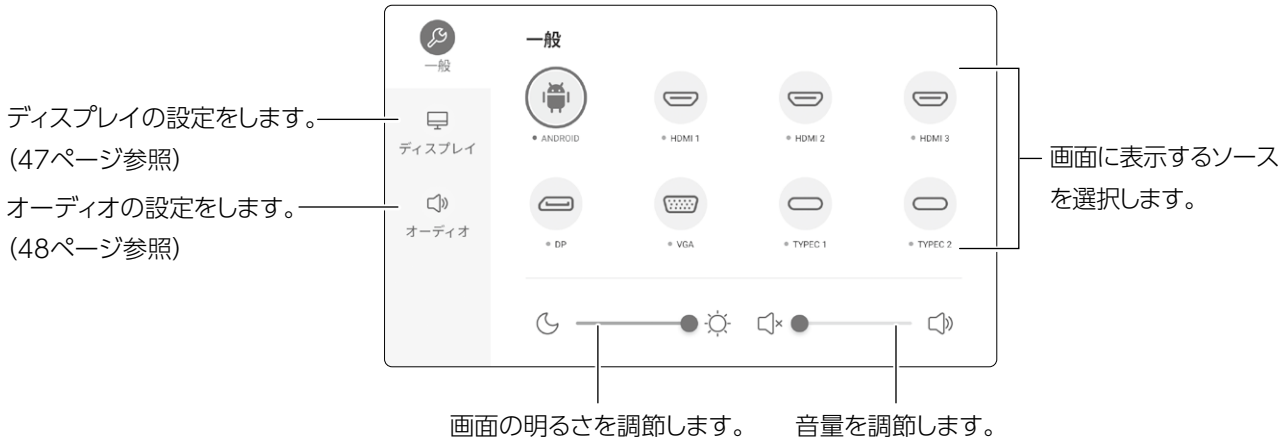


リモコンの入力切替ボタンを押す。





操作方法

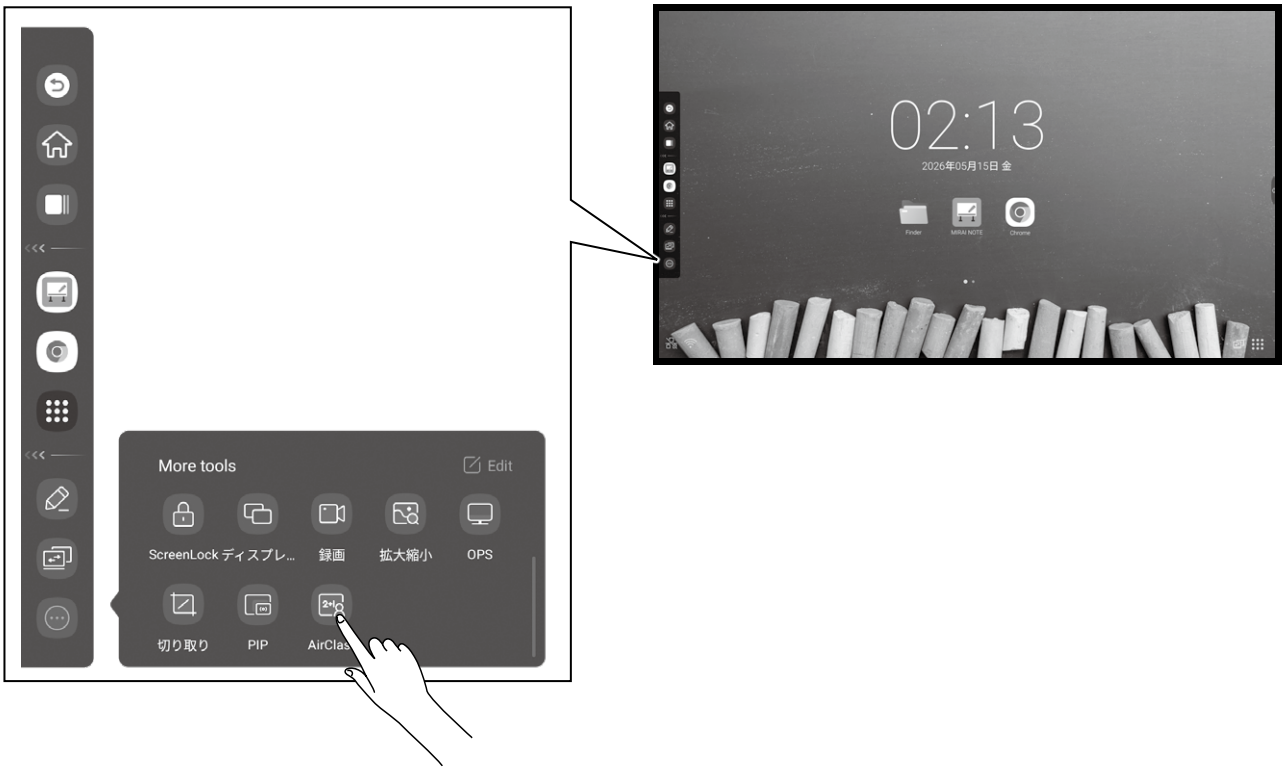


Air Class機能

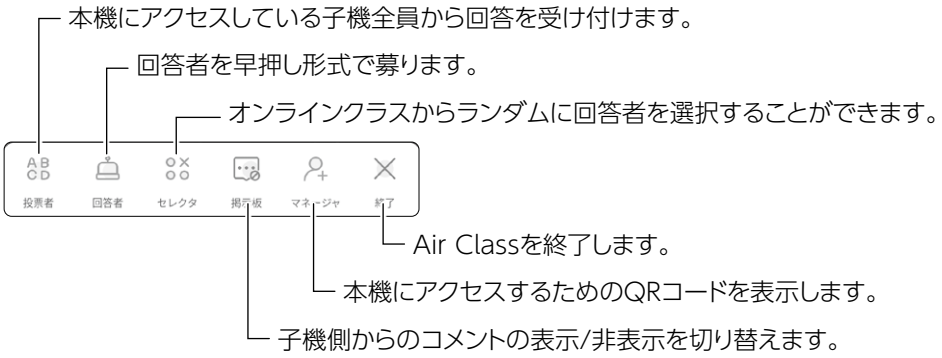
「Air Class」機能を使うと、子機の端末から回答を集計したり、本機上で表示することができます。
子機は最大26台まで接続することができます。

起動方法

ホーム画面からサイドメニューを表示させ、ツール上から をタップします。



AirClassのメニューバーが表示されます。



子機から本機にアクセスする

Air Class機能を使用するときは、子機のインターネットブラウザから本機にアクセスする必要があります。
子機の端末には、パソコンやタブレット、スマートフォンなどをお使いいただけます。

1. 本機と子機がインターネット接続している状態にします。

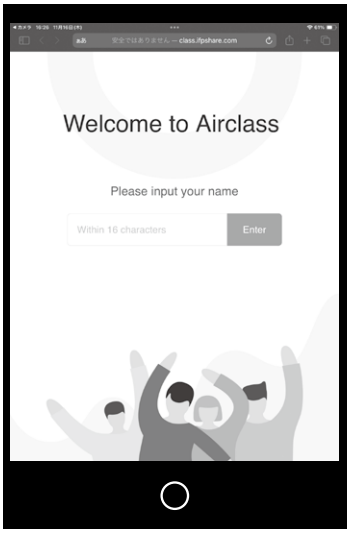
2. 本機に表示されているAirClassメニューバーの「マネージャ」をタップします。



3. 本機に表示されたアドレスをインターネットブラウザのアドレス欄に入力するか、画面の右上を選択すると表示されるQRコードを接続したい子機で読み取り、ページに移動します。



子機側で「Welcome to Airclass」と表示されれば、アクセスは完了です。



4. 子機を操作して、名前を16文字以内で入力し、「Enter」ボタンを押します。

子機側の操作画面について



Air Class機能（続き）

使用方法

子機全員から回答を受け付ける

1. AirClassメニューバーの「投票者」をタップします。



2. 「開始」をタップします。

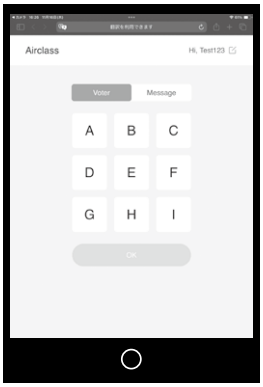


ボタンが「完了」に変わり、子機からの回答受付を開始します。



子機側の操作

回答を選択し、[OK]を押して本機側へ送信します。

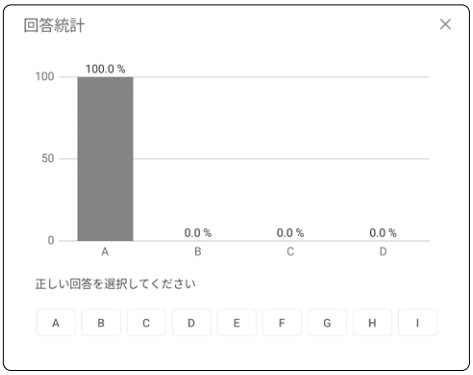


子機からの回答が来ると、名前が表示されます。



3. 「完了」をタップして回答を締め切ります。

回答を締め切ると、集計画面が表示されます。



早押し形式で回答を受け付ける

1. AirClassメニューバーの「回答者」をタップします。



太鼓の音が鳴り、回答を募ります。

太鼓の音が鳴っている間、子機側で「OK」を押すと、回答権を得られます。



2. 回答者が決まると、「選んでください」と表示されるので、子機側で回答します。



設定する

クイック設定

表示する画面を切り替えたり、画面の明るさや音量を調節できます。

起動方法

サイドメニューから「メニュー」を選択する。



リモコンの入力切替ボタンを押す。





一般設定



NOTE

TYPEC1：本体側面の入力端子部にあるType-C端子に接続された映像機器の画面を表示します。
TYPEC2：本体正面の入力端子部にあるType-C端子に接続された映像機器の画面を表示します。

ディスプレイ設定

ディスプレイの設定をします。



明るさの自動調整	オンにすると、自動で画面の明るさを調節します。
自動色温度	オンにすると、自動で色温度を調節します。
省電力	オンにすると、省エネルギーモードで動作します。
アイケア	オンにすると、使用中の目の負担を軽減するアイケアモードで動作します。
ペーパーアイケア	オンにすると、ペーパーアイケアモードで動作します。
画像モード	各プリセットごとに画質を調節します。
色温度	色温度を変更します。
高度設定	画質の詳細設定を行います。



色空間	色空間の設定を行います。
HDMIレンジ	HDMIレンジの設定を行います。
ピクセルシフト	ピクセルシフトのオン/オフを切り替えます。
ダイナミックコントラスト(DCR)	ダイナミックコントラストのオン/オフを切り替えます。
ANDROIDチャンネルを有効	ANDROIDチャンネルの有効/無効を切り替えます。
Bytello Shareを有効	Bytello Shareの有効/無効を切り替えます。

設定する（続き）

オーディオ設定

オーディオの設定をします。



オーディオモード	各プリセットごとに音量やバランスを調節します。
ミュート	ミュートのオン/オフを切り替えます。

詳細設定

ネットワークや言語の設定など、より細かい設定をすることができます。



ネットワーク

■ Wi-Fi



ON/OFF	Wi-Fi接続のオン/オフを切り替えます。

設定する（続き）

■ イーサネット



イーサネット	イーサネット接続のオン/オフを切り替えます。
IPアドレスを自動的に取得する	オンにすると、IPアドレスを自動で取得します。 オフにすると、手動でIPアドレスを設定することができます。
プロキシ	プロキシサーバーを使用する場合、「手動」または「プロキシ自動設定」を選択して設定を行います。

■ ホットスポット



ホットスポット	ホットスポット機能のオン/オフを切り替えます。
ホットスポット名	ホットスポット名を表示します。タップすると、ホットスポット名を変更できます。
セキュリティ	ホットスポットのセキュリティを設定できます。
パスワード	ホットスポットのパスワードが表示されます。タップすると、パスワードを変更できます。
周波数	ホットスポットの周波数を2.4GHz/5GHzに切り替えられます。

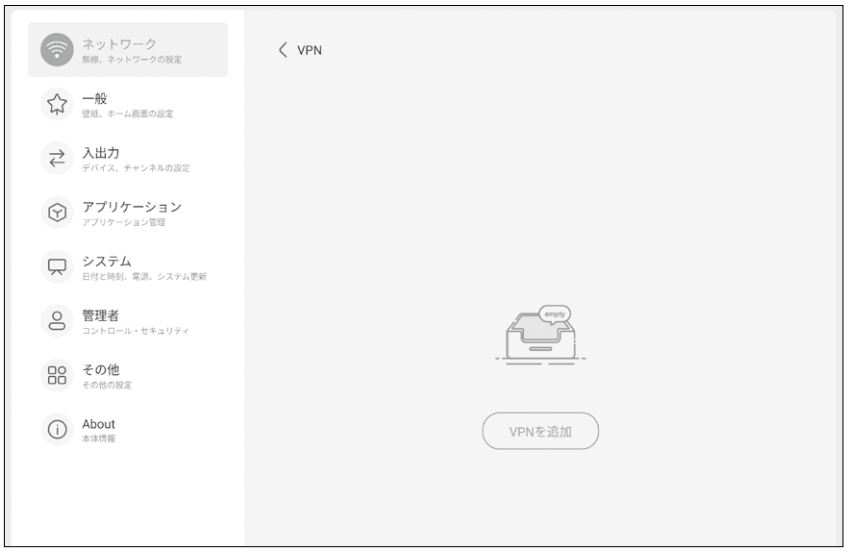
■ Bluetooth

Bluetooth機器を接続します。



■ VPN

「VPNを追加」をタップしてVPN接続の設定を行います。



一般

■ 壁紙

ディスプレイに表示する壁紙の画像を設定します。



■ スクリーンセーバー

設定した時間内に画面操作を行わない場合、スクリーンセーバーが表示されます。



設定する（続き）

■ 下部にオプションをスワイプ

画面下部から上方向にスワイプしたときの動作を設定します。

ボトムサイドバー	メニューバーを表示します。
ソースメニュー	入力切り替え画面を表示します。

■ フロートバーの設定



システムバー	サイドメニュー方式のメニューです。 サイドメニューは画面両端の▶をタップすると表示されます。
ユニバーサルシステムツールバー	ポップアップ方式のメニューです。 画面上を2点長押しするとメニューが表示されます。

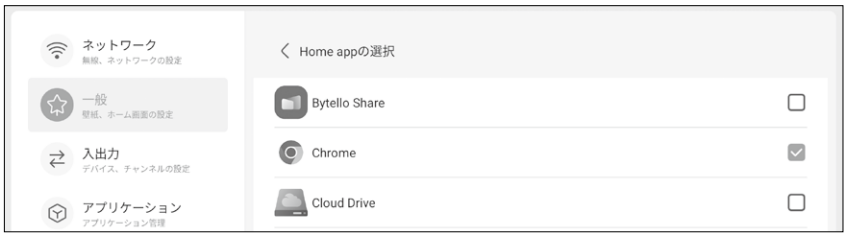
■ マルチウィンドウモード

マルチウィンドウモードのオン/オフを切り替えます。

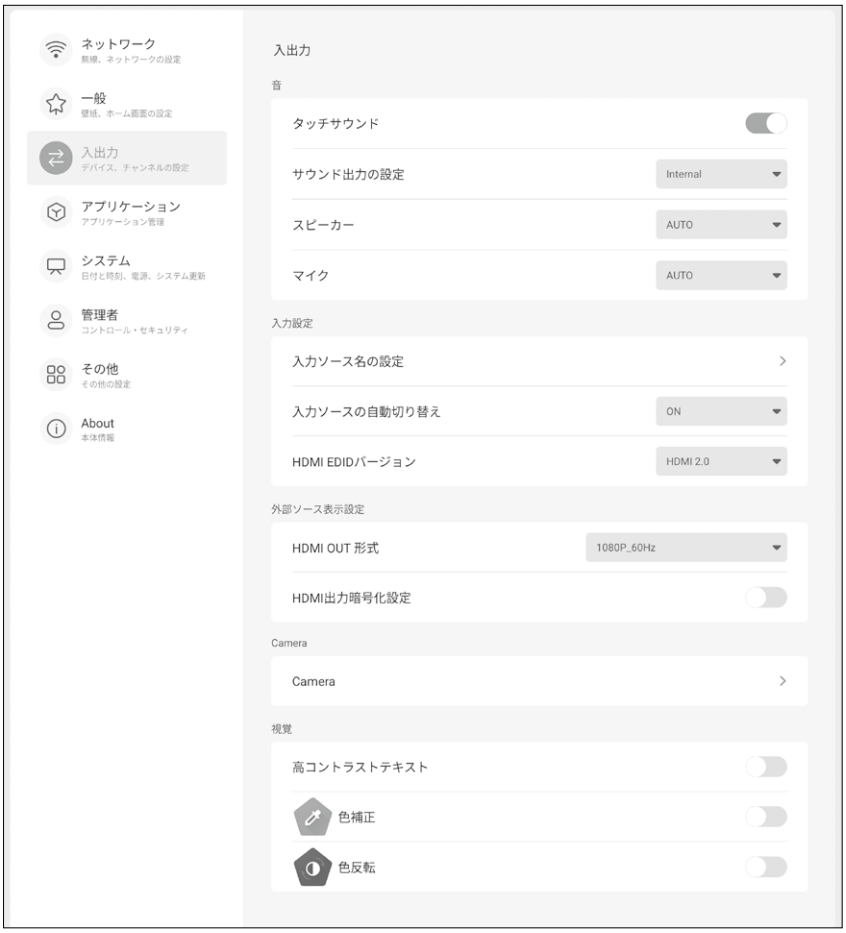
■ HOME appの選択

ホーム画面に表示するアプリを設定します。

ホーム画面に表示できるアプリは最大3つまでです。



入出力



タッチサウンド	オンにすると、タップ時に操作音が鳴るようにします。
サウンド出力の設定	音声の出力方法を設定します。
スピーカー	本製品で使用するスピーカーを選択します。
マイク	本製品で使用するマイクを選択します。
入力ソース名の設定	入力切替画面に表示するソース名の設定をします。
入力ソースの自動切り替え	「ON」に設定すると、映像入力信号を探知したときに自動的に入力ソースを切り替えます。
HDMI EDIDバージョン	HDMI EDIDバージョンを選択します。
HDMI OUT形式	HDMI出力解像度を設定します。
HDMI出力暗号化設定	HDMI出力暗号化設定のオン/オフを切り替えます。
Camera	本製品で使用するカメラを選択します。
高コントラストテキスト	文字表示を変更します。
色補正	色表現を変更します。
色反転	色を反転します。

設定する（続き）

アプリケーション

本製品にインストールされているアプリの設定をします。



システム

■ 日付と時刻



24時間形式を使用	時刻を[13:00]のように表示するか、[1:00 PM]のように表示するか切り替えます。
日付と時刻の自動取得	オンにすると、ネットワークから自動的に時刻を取得し、時計を合わせます。
日付書式	日付の表示形式を選択します。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
時刻サーバー	NTPサーバーを選択します。

■ 言語&キーボード

表示言語の設定をします。



■ 画面ロック



Screen Lock	画面表示ロック (黒画面表示)をおこないます。
パスワードを設定する	画面表示ロックのパスワードを設定します。
パスワード変更	画面表示ロックのパスワードを変更します。

■ 起動とシャットダウン



起動チャネル	電源をオンにしたときに表示する画面を設定します。	
	最後のシャットダウンチャンネル	前回電源をオフにしたときの画面を表示します。
	Android	電源をオンにしたときに表示する入力ソースを選択します。
	HDMI 1	
	HDMI 2	
	HDMI 3	
	DP	
	VGA	
	TYPEC 1	
	TYPEC 2	
起動後の待機	起動後にスタンバイになります。	
PCシャットダウン連動	内蔵PCの電源をオフにしたときに、本製品を自動的にシャットダウンします。	
電源オフ通知	電源オフ時の通知表示のオン/オフを切り替えます。	
電源オンの追加	オンタイマーを設定します。	
電源オフの追加	オフタイマーを設定します。	

■ ピクセルシフト

ピクセルシフトの設定を変更します。

■ ストレージ

ストレージの情報を表示します。

設定する（続き）

■ システムアップデート

システムのアップデートを行います。



現在のバージョン	本製品のバージョンを表示します。
オンライン更新	ファームウェアアップデートがあるか確認します。
ローカル更新	USBメモリからファームウェアアップデートします。

■ セキュリティ

セキュリティの情報を表示します。



管理者



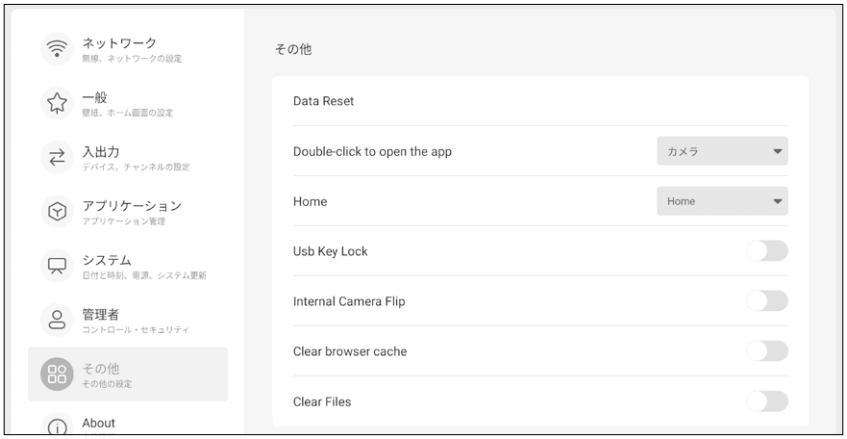
管理者パスワード	4桁の管理者パスワードを設定します。
セキュリティロック	本製品にロックをします。
Export Xbug	システムのログを取得します。
アプリの表示登録	アプリー覧画面に表示するアプリを登録します。
共有ストレージ	OPS上で内蔵（Android）ストレージを使用します。
Mic	外部チャンネルでマイクの使用のオン/オフを切り替えます。
LAN Port	外部チャンネルでLAN Portの使用のオン/オフを切り替えます。
Top Camera/USB3.0 Port	外部チャンネルで本機内蔵のカメラとUSB3.0 Portの使用のオン/オフを切り替えます。

注意！

管理者パスワードは「セキュリティロック」で利用します。
利用する場合は設定してください。
（設定したパスワードは忘れないようにしてください）

設定する（続き）

その他



Data Reset	本機を完全に初期状態に戻します。データは消去されますので復元することはできません。初期化中は本体電源を落とさずホーム画面が再度表示されるまでしばらくお待ちください。 Data Reset手順は以下のとおりです。 1. 「Data Reset」を選択します。 2. パスワード "2580" を入力して「OK」を選択します。 3. Reset確認画面が表示されますので「確認」を選択します。 4. Data Resetが開始されます。 5. Data Reset処理後ホーム画面が表示されましたら完了です。
Double-click to open the app	ホームボタンを2回押したときに起動するアプリを選択します。
Home	ホームボタンを1回押したときの設定をおこないます。
Usb Key Lock	設定した場合、解除ファイル（USB）がないと電子黒板が利用できなくなります。 解除ファイル（USB）につきましては弊社営業までお問い合わせください。 設定パスワード："2580"
Internal Camera Flip	本体内蔵カメラの表示を左右反転させます。
Clear browser cache	ブラウザのキャッシュを削除します。
Clear Files	Finderの「collection」を除いたすべてのフォルダやファイルを削除します。

About

ソフトウェア情報を表示します。



故障かなと思ったら

正常に動作しない

症状	対策
リモコンがうまく動作しない	リモコンとリモコン受信部の間に障害物がないか確認する。
	リモコン受信部に向けてリモコンを操作する。
	リモコンの電池が+ ー正しい向きで入っているかどうか確認する。
	電池を交換する。
本機が自動的にシャットダウンする	PCユニット搭載モデルの場合は、本機内蔵のOPSがスリープ状態になっていないか確認する。
	停電になっていないか確認する。
	自動シャットダウンの制御信号が送られていないか確認する。

映像入力した機器の画面がうまく表示されない

症状	対策
画面に「信号無し」と表示される	ケーブルが正しく接続されているか確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
背景に縦線や筋が出る	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	本機の周囲に他の電子機器や電気製品があるかどうか確認する。 → 他の機器から電波の影響を受けることがあります。他機器から離したり、位置を変えてみてください。
画像に色がない、または色が正しくない	クイック設定メニューの「ディスプレイ」設定で「画像モード」、「色温度」、「高度設定」の「色空間」から調整する。
その他映像が乱れる	適切なディスプレイケーブルであることを確認する。

音が出ない

症状	対策
画像も音声も出ない	本機の電源がオン（｜）になっているか、あるいはスタンバイモードになっていないかを確認する。
	接続ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	接続したケーブルと、本機の入力設定が一致しているか確認する。
	PCモードの場合は、本機内蔵OPSまたは接続しているPCが起動しているか確認する。
映像は出るが音が出ない	リモコンの消音ボタンを押して、ミュートになっていないか確認する。
	リモコンあるいは本機前面パネルの音量調節ボタンで音量を調節する。
	音声ケーブルが正しく接続されているかどうか確認する。
片方のスピーカーからしか音が出ない	音声ケーブルが正しく接続されていることを確認する。
	クイック設定メニューの「オーディオ」設定で音声バランスを調整する。
	PCモードの場合は、PCのサウンド設定を確認する。

故障かなと思ったら (続き)

タッチ操作がうまくできない

症状	対策
タッチが認識されない・ 正常に認識されない	タッチ機能が無効になっていないか確認する。 →リモコンの赤・黄ボタンを一回押してタッチできるか確認します。
	タッチした部分のサイズが指のサイズに比べ小さすぎないか確認する。
	タッチペンのペン先に異常がないか確認する。
	接続しているPCのタッチ操作が認識されない場合、本機のタッチ端子とPC側のUSB端子が付属のUSBケーブルで接続されているか確認する。
	画面内に直射日光が当たっていないか確認する。 → 本機は赤外線でタッチ位置を検出しているため直射日光が動作に影響をおよぼす場合があります。
	周囲で複数台のタッチディスプレイを使用していないか確認する。 → 本機種は赤外線遮断検出方式ですので、複数台並べると、タッチセンサーの干渉により誤動作する可能性があります。

お手入れ方法

長くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。
クリーニングおよびメンテナンスの前には、感電防止のため電源プラグを抜いておいてください。

注意！

- お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを傷めることがあります。
- 機械内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 画面を強くこすったり、固い布で拭くと、液晶ディスプレイの表面に傷がつくおそれがあります。

液晶ディスプレイやキャビネットのお手入れ
乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。



長期間使用しない場合

本機を長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜いてください。

仕様

モデル名		M65CE4S	M75CE4S	M86CE4S
電源入力		AC 100V 50/60Hz		
消費電力	通常	200W	250W	250W
	スタンバイ時	0.5W未満	0.5W未満	0.5W未満
使用環境条件	温度	0℃～ 40℃		
	湿度	10% ～ 90% (結露がないこと)		
音声出力		本体前面 (左/右 : 20W+20W)		
VESA規格		600×400 (mm)	800×400 (mm)	800×600 (mm)
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)		1488×915×98(mm) 梱包時 : 1628×1024×185 (mm)	1709×1039×98(mm) 梱包時 : 1863×1163×225 (mm)	1957×1178×98(mm) 梱包時 : 2110×1304×225 (mm)
質量		約31kg　梱包時 : 約42kg	約42kg　梱包時 : 約56kg	約52kg　梱包時 : 約65kg
ディスプレイ				
サイズ		65型	75型	86型
画面寸法 (幅×高さ)		1428 × 803 (mm)	1650 × 928 (mm)	1895 × 1065 (mm)
画素数 (水平×垂直)		3840 × 2160		
輝度		500 cd/m^2		
コントラスト比		1200 : 1		
表示色		約10.7億色		
視野角		左右178度／上下178度		
タッチシステム	マルチタッチ	最大50点マルチタッチ (赤外線遮断検出方式)		
	接続端子	USB 2.0 Full Speed		
	保護ガラス	3.2mm厚強化ガラス		
機能				
Wireless		IEEE802.11b/g/n/a/ac/ax		
Bluetooth		Bluetooth 5.3 (Please use the remote controller from the location where the product is visible.)		
カメラ		上部 : 4K対応		
マイク		8Array マイク		
本体端子				
入力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×3		
	DP	DisplayPort×1		
	VGA	D-SUB15ピン×1		
	AUDIO	3.5Φステレオミニジャック×1		
出力端子	HDMI	HDMI TYPE Aコネクタ×1		
	AUDIO	3.5Φステレオミニジャック×1、デジタル出力端子 (SPDIF)×1		
USB端子 (入力)	USB 2.0	USB Aタイプ×1		
	USB 3.0	USB Aタイプ×4		
	TYPE-C	USB Cタイプ×2 (DP Alt Mode support) (PD : Front (65W without OPS、15W when OPS is plugged in) / Side 15W)		
	TOUCH	USB Bタイプ×2		
TF Card端子	microSD	microSD×1		
シリアル端子	RS232	D-SUB9ピン (RS232)×1		
LAN端子	LAN	RJ45×2 (1000Base-T)		

※ 本仕様は2026年10月1日現在のものです。仕様は予告なく変更する場合がございます。

MEMO

アフターサービス

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買い上げの日から1 年間です（ただし、光源のLED バックライトやペン先は消耗品ですので、保証の対象になりません）。
保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。
修理の際の取り外し、再設置に要する費用は別途お客様負担となります。
製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」をお読みいただき、それでも直らないときは、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご連絡ください。
大変危険ですので、ご自分で修理はしないでください。

保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理可能な製品については、ご要望により有料にて修理致します。
お買い上げの販売店または弊社相談窓口にご相談ください。
修理ご依頼のときは、製品名、ご氏名、ご住所、電話番号、お買い上げ日、故障の内容（具体的に）をご連絡ください。

修理料金について

修理料金は、[技術料]+[部品代]+[出張料]+ [輸送料]で構成されています。

商標について

- さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Google、Android、YouTube、YouTube Musicおよ びYouTubeロ ゴ、Google Playおよ びGoogle Playロ ゴ、Google Chrome ブラウザはGoogle LLCの商標です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- DisplayPort はVideo Electronics Standards Association の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など

0120-261-271 （フリーダイアル）

受付時間　9:00 ～ 17：00（月～金）
祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

さつき株式会社

〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号

©SATSUKI CO., LTD.